

令和3年度

---

# 生涯学習・文化財行政 主要施策の実施状況の概要

---

令和4年1月21日現在

- ア 生涯学習の推進
- イ 家庭教育の支援
- ウ 青少年の学習活動の支援
- エ 成人・高齢者の学習活動の支援
- オ 社会教育の充実
- カ 文化財の保護
- キ 社会教育施設等の環境整備

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

## ア 生涯学習の推進

施 策	生涯学習推進体制の充実	
<p>(1) 施策の方向 生涯学習推進本部や生涯学習審議会を通して、生涯学習の総合的な推進を図るとともに、生涯学習推進の基盤整備及び生涯学習関連施策の効果的な推進を図るため、大学等高等教育機関や民間との連携のもとに調査研究を推進する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
生涯学習推進体制調査	市町村における生涯学習推進体制等に関する実態を把握し、生涯学習推進の基礎資料とする。	<p>ア 期 日 10月1日現在</p> <p>イ 対 象 全市町村 (33)</p> <p>※生涯学習推進センターより依頼済み</p>
岩手県生涯学習審議会	生涯学習の普及奨励及び推進方策等について協議し、生涯学習の総合的な推進を図る。	<p>ア 期 日 ①7月19(月)、②1月21日 (金)</p> <p>イ 会 場 サンセール盛岡</p> <p>ウ 内 容</p> <p>① 7月19日 (月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度主要施策について</li> <li>・今後求められる施策の方向性について</li> </ul> <p>② 1月21日 (金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度主要施策の実施状況報告及び令和4年度事業計画の説明について</li> <li>・今後求められる施策の方向性「協議の報告」について検討</li> <li>・令和4年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について</li> </ul>
生涯学習推進研究開発事業	県民の生涯にわたる学習活動の充実並びに市町村の関係機関・団体の学習活動を支援するため、生涯学習に関する情報提供、関係職員研修等、生涯学習に関する研究開発を行う。	<p>《岩手県生涯学習推進研究発表会》</p> <p>ア 期 日 2月3日(木)～2月4日(金)</p> <p>イ 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事例発表・協議</li> <li>○ 講演</li> <li>○ 研究発表</li> </ul> <p style="text-align: right;">※予定</p>
<p>(3) 成果 (○) と課題 (●) ・令和4年度事業の方向性 (☆)</p> <p>○ 県生涯学習審議会において、「新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育～岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の方向性について～」をテーマとして設定し、「いわて県民計画」や「教育振興計画」を踏まえた生涯学習・社会教育の振興に資する貴重な御意見を各委員からいただくことができた。</p> <p>☆ 審議会において各委員よりいただいた御意見を「協議の報告」としてまとめ、各施策の推進に反映させていきたい。</p> <p>☆ 生涯学習施策を更に幅広く展開していくことを目指し、情報通信技術 (ICT) を活用した学習情報提供の充実、地域づくり人材の育成のための研修・交流の場の提供、調査研究の推進を図る。</p>		

施 策	生涯学習の普及奨励	
<p>(1) 施策の方向 生涯学習ボランティア活動推進事業を継続し、学習成果を地域社会に生かすことのできる環境の維持に努める。また、市町村や高等教育機関、民間等との連携・協力により、広域的な学習機会や学習情報を県民に提供する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
生涯学習情報提供システム運営事業  HP 「まなびネットいわて」	県民の学習活動を支援するため、県と市町村及び関係機関が相互に連携・協力し、インターネットの活用等による学習者のニーズに応じた情報の提供を図る。	○ HP「まなびネットいわて」の運用 ア HP掲載内容 ・指導者・ボランティア情報 ・講座・イベント情報 ・団体・グループ情報 ・教材情報・施設情報・新聞記事検索 ・相談・支援 等 イ 利用状況 ・データベース登録件数 12,499件 ( 3,654件) ・システム利用数 123,276件 (22,196件) ・携帯サイト利用数 20件 (226件) ※いずれもR3年11月末現在 (R2同期)  ○ 生涯学習情報 (メールマガジン) 提供 「いわてマナビイマガジン」の配信 (月2回配信)  ○ 生涯学習情報紙 「岩手県立生涯学習推進センター情報」 ・部数 700部 ・年間4回 (108号～111号)
生涯学習ボランティア活動推進事業	生涯学習の成果を生かす観点からボランティア活動を促進する事業を継続し、県民がこれまで蓄積してきた学習の成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の維持に努める。	○ 生涯学習ボランティアセンターの設置及び情報提供 ・学習相談
生涯学習電話相談「マナビイコール」	生涯学習等の事業推進や活動に関する電話相談に応じる。	ア 期 日 4月～3月 毎週 月～金 9:00～17:00 イ 相談件数 74件 (85件) ※R3年11月末現在 (R2同期)

<p>高等学校卒業程度認定試験</p>	<p>様々な理由で高等学校を卒業できなかった者等の学習成果を適正に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するために実施する。</p>	<p>○第1回 8月12日(木)～13日(金)  <b>【会場：県立生涯学習推進センター】</b>  ※文科省の委託業者が実施主管  ・出願 51人(34人) ・受験 43人(30人)  ・合格 23人(14人)  ※ ( ) 内はR2年度の実績</p> <p>○第2回 11月6日(土)～7日(日)  <b>【会場：県立生涯学習推進センター】</b>  ※県教委が実施主管  ・出願 50人(43人) ・受験44人(36人)  ・合格24人(17人)  ※ ( ) 内はR2年度の実績</p>
---------------------	---	---

(3) 成果 (○) と課題 (●) ・令和4年度事業の方向性 (☆)

- ホームページの運用について  
生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」について、今日的な課題に対応したコンテンツを充実させるとともに、最新情報の掲載等、県民及び社会教育関係者にとって有益な情報を提供することができた。R3年3月に、「子育てワンポイントアドバイス」のトップページを刷新し、スマートフォンやタブレット端末からもアクセスが可能となったこと等により、利用件数が大幅に増加している。
- 生涯学習情報の提供について  
生涯学習情報（メールマガジン）「いわてマナビイマガジン」、生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」により、学校教育関係者、県教育関係機関・施設、市町村教育委員会生涯学習・社会教育担当課等に生涯学習・社会教育に係る最新の情報を定期的に提供することができた。
- 生涯学習ボランティア活動促進事業・生涯学習電話相談「マナビイコール」について  
指導者・ボランティア情報を一元管理し、活動希望者と活動機会に関する情報の収集と提供に努めている。生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」における情報提供や、生涯学習等の事業推進や活動に関する電話相談「マナビイコール」においても随時講師等の情報提供を行っている。
- ☆ 生涯学習情報提供システムのリニューアルに引き続き取り組み、学びの機会や活躍の場等に関する情報の提供について、一層の充実を図る。
- ☆ 他部局（領域）との連携により、地域づくり等の視点も含めた生涯学習施策を幅広く展開するとともに、生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」を活用した情報提供の充実を図ることなどにより、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯を通じて学び続けられる環境づくりを推進する。

イ 家庭教育の支援

施策	学習機会の提供	
<p>(1) 施策の方向                      ア 親等が集まる多様な機会を活用して、子育てや家庭教育に関する学習機会の提供に努める。                      イ 親子の共同体験を通して、親子の相互理解を深めるとともに、参加家族間の交流を通して、子育ての仲間づくりを推進する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
<p>親子共同体験 推進事業</p>	<p>親子の共同体験を通して、親子の相互理解を深めるとともに、参加家族間の交流を通して、子育ての仲間づくりを促進する。</p>	<p>ア 主 管 各青少年の家                      イ 期 日 5月～3月                      ウ 内 容 野外炊事、自然体験活動等</p> <p>○ 県南青少年の家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ファミリートレッキング」 6月13日(日) 12家族28名 親子トレッキング</li> <li>・「かるがも親子体験教室」 ①7月3日(土) 親子アウトドア編 12家族34名 ②7月24日(土)～25日(日) 親子de宿泊体験！編 17家族45人</li> <li>・「親子de手作りクリスマス！」 ①②11月27日(土) ①10家族28名 ②9家族28名 ③④11月28日(日) ③10家族27名 ④10家族31名 ⑤⑥12月4日(土) ⑤8家族21名 ⑥9家族26名 リース、キャンドルづくり</li> <li>・「かるがも親子のクリスマス」 12月11日(土)～12日(日) 19家族51名 学習会(親)、創作活動(子)等</li> <li>・「レッツ！スケート」 ①1月15日(土) ②1月29日(土) スケート講習会等</li> </ul> <p>○ 陸中海岸青少年の家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族ふれあい塾」 8月28日(土)～29(日) 中止</li> <li>・「親子でエンジョイ1day夜釣り」 11月20日(土) 18組45名 仕掛けづくり、夜釣り(堤防釣り)等</li> <li>・「ワンダフルネイチャー」 ①4月24日(土) 兜明神岳登山 27名(内親子2組4名) ②10月9日(土) 鯨山登山 39名(内親子5組10名) ③11月6日(土) 霞露ヶ岳トレッキング 27名(内親子3組6名)</li> </ul> <p>○ 県北青少年の家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「プラネタリウム鑑賞デー」 ①7月25日(日) 中止 ②9月18日(土) 中止 ③2月11日(日)</li> <li>・「親子でアウトドアチャレンジ」 5月29日(土)～30日(日) 13家族40名 野外炊事等</li> <li>・「わんぱく広場」 ①6月26日(土) 40名 ②6月27日(日) 42名 魚つかみ、昼食交流会等</li> <li>・「親子でアウトドアクッキング」 9月18日(土) 中止</li> </ul> <p>○ 3施設合同事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親子deチャレンジ」 会場：県北青少年の家 10月30日(土)～31日(日) 12家族30名 創作活動、スケート体験、プラネタリウム鑑賞等</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 野外活動センター <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ファミリーキャンプin広田」 10月2日（土）～3日（日）7家族19名 野外炊事、磯遊び等</li> <li>・「親子海釣り教室」 10月16日（土）～17日（日）8家族17名 仕掛け作り、船釣り等</li> <li>・「三陸探検隊」（防災教室） 11月13日（土）～14日（日）10家族23名 防災学習、炊き出し体験等</li> </ul> </li> </ul>
効果的な学習 機会の提供  市町村への補 助金交付 【国庫補助事業】	保護者を対象に、関係機関団体等との連携のもと、広域的な教育課題に即した学習内容及び先進事例やワークショップ等を通した学習方法を提供する。	<p>ア 期 日 4月～3月</p> <p>イ 実施市町村 <u>12市町（261講座）</u></p> <p>ウ 内 容 家庭教育支援に関する講座等の学習機会の提供</p>
<p>(3) 成果 (○) と課題 (●) ・令和4年度事業の方向性 (☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各施設で実施した親子の共同体験推進事業では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら、創意工夫された取組により多様な体験を提供することができた。</li> <li>○ 国庫補助事業では、県内市町村において年間261講座の実施が見込まれており、課題に即した取組が展開されている。</li> <li>● 子育てに不安や悩みを抱える保護者が増加していることから、親子共同体験等を通じた子育ての仲間づくりについて、引き続き推進を図っていく必要がある。</li> </ul> <p>☆ 令和4年度も概ね今年度と同様の方向性により、各種学習機会を提供する予定である。</p>		

施 策	子育て支援体制の充実	
<p>(1) 施策の方向  地域において子育てに悩む親等の相談を受けたり、子育てグループを支援したりする子育てサポーターや子育て支援関係者の資質向上及びネットワークの強化を図り、子育てサポーターの活動促進を図る。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
<p>家庭教育支援体制整備</p>	<p>地域の子育てサポーターや子育て支援団体等の活動支援と各種事業連携を通して、地域の家庭教育・子育て支援体制整備を図る。</p>	<p>○「岩手県学校・家庭・地域の連携による支援活動促進委員会」  年2回開催 ①5/21 ②1/25 予定</p> <p>○「家庭教育・子育て支援担当者研修会」  ア 主 管 生涯学習推進センター  イ 期 日 6/4  ウ 内 容 講義・演習、ワークショップ  エ 対 象 行政担当者（16人）</p> <p>○「子育て・家庭教育相談担当者研修会」  ア 主 管 生涯学習推進センター  イ 期 日 ①12/6（26名） ②2/14 予定  ウ 内 容 講義・演習  エ 対 象 相談機関担当者</p> <p>○「地域安全防災研修会」  ア 主 管 生涯学習推進センター  イ 期 日 12/7 予定  ウ 内 容 説明、講義、質疑・応答  エ 対 象 行政担当者等（44名）</p>
<p>子育てサポーターのスキルアップと支援関係者のネットワーク強化による活動促進</p>	<p>岩手県子育てサポーターと県、各市町村の子育て支援関係者との交流促進、相互理解を図り、本県の子育て支援の充実および子育てサポーターの資質向上・活動促進を図るとともに、相互のネットワークを形成することにより、本県の家庭教育の充実に資する。</p>	<p>○「子育て支援活動交流研修会」  ア 主 管 生涯学習推進センター  イ 期 日 12/14  ウ 内 容 講演、実践発表、情報交流等  エ 対 象 子育てサポーター、子育て支援関係者等（34名）</p> <p>○「地区家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会」  ア 主 管 各教育事務所  イ 内 容 講演、事例紹介、実技等  ウ 期 日  ① 盛岡教育事務所 10/ 6(47人)  ② 中部教育事務所 9/24(13人)  ③ 県南教育事務所 10/21(46人)  ④ 沿岸南部事務所 10/22(36人)  ⑤ 宮古教育事務所 9/21(中止)  ⑥ 県北教育事務所 10/19(36人)  エ 対 象 行政関係者、子育てサポーター養成講座修了者、子育て支援関係者等</p>
<p>(3) 成果 (○) と課題 (●) ・令和4年度事業の方向性 (☆)</p> <p>○ 推進センター主管事業及び家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会において、広域振興局、市町村保健福祉部局等と連携し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら、工夫を講じた事業運営がなされた。研修の内容も充実しており、受講者の満足度も高い。</p> <p>● 「家庭教育支援チーム」の登録について、引き続き継続的な周知や登録を促す働きかけが必要である。</p> <p>☆ 令和4年度は概ね今年度と同様の方向性により、子育て支援体制の充実を図る予定である。</p>		

施 策	学習情報の提供と相談体制の充実	
<p>(1) 施策の方向</p> <p>① 子育てに不安や悩みを抱える親等に対する相談窓口の整備充実を図るとともに、関係機関等との連携を図る。</p> <p>② 家庭教育に関する親の学習活動を促進するため、広く県民に学習情報や学習資料を提供することに努める。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
子育て電話相談 「すこやかダイヤル」	家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話（面接）による相談を行い、家庭教育の充実を図る。	ア 開設場所 生涯学習推進センター イ 開設期間 通年 ウ 開設日時 月～金曜日（毎日10:00～17:00）ただし、国民の祝日、年末・年始は除く。 エ 電話番号 0198-27-2134（夜間は留守電、FAX） オ 相談員会議 随時開催 <利用状況> H29:759件 H30:544件 R1:657件 R2:683件 R3年度：568件（11月末現在）
子育てメール相談 「すこやかメール相談」	子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親など、全ての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した家庭教育相談を行う。	ア 開設場所 生涯学習推進センター イ 開設期間 年間 ウ メールアドレス kosodatem@pref.iwate.jp エ 内 容 子育てに関するメールによる相談 オ メール相談件数 H29:194件 H30:184件 R1:204件 R2:249件 R3年度：150件（11月末現在）
「すこやかメールマガジン」	子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親など、全ての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した情報提供を行う。	ア 開設場所 生涯学習推進センター イ 開設期間 通年 ウ 配信日時 毎週木曜配信 エ 内 容 ITを活用した子育てに関する情報提供 オ 登録者数 H29年度末:1,041人 H30年度末:1,141人 R1年度末:1,863人 R2年度末:3,043人 R3年度3,565人（11月末現在）
家庭教育手帳の周知	乳幼児から小・中学校の子どもをめぐる家庭教育の課題や家庭教育に関する学習機会、相談窓口等に関する情報を提供する。（電子データによる提供周知）	ア 家庭教育手帳<ドキドキ子育て> 対象 妊娠期～乳幼児の親 イ 家庭教育手帳<ワクワク子育て> 対象 小学1～4年生の親 ウ 家庭教育手帳<イキイキ子育て> 対象 小学5、6年生及び中学生の親 ※手帳については、文部科学省HPより適宜ダウンロードして活用を図る。
<p>(3) 成果 (○) と課題 (●)・令和4年度事業の方向性 (☆)</p> <p>○ すこやかダイヤルの相談件数は、昨年度より約140件増えている。相談領域等に応じて、他の相談機関や専門機関を紹介するなど、他の関係機関と連携した対応を行っている。</p> <p>○ すこやかメール相談の相談研修は、昨年度より約50件増えている。対象別内訳は乳幼児が多く、夜間に受理するケースも一定数あり、都合に合わせていつでもできるメール相談は、相談者に寄り添う形態といえる。</p> <p>○ すこやかメールマガジンは、読者にとって親しみやすく共感できる内容であるとともに、多くの学びや気づきをメール及びSNSを活用して提供する仕組みとなっている。配信登録数も増加している。</p> <p>● メールマガジンについて、引き続き各種広報を活用するなど広く周知を図っていく必要がある。</p> <p>☆ 令和4年度も今年度同様の方向性により、電話やメールによる相談窓口を設置するとともに、メールマガジン等による家庭教育に役立つ情報等の提供や、教育に関する意識啓発に取り組むこととする。</p>		



## ウ 青少年の学習活動の支援

施 策	子どもの読書活動推進事業	
(1) 施策の方向 本県における子どもの読書活動の充実・向上を図り、生涯にわたる学びの基盤形成に資する。 (2) 事業実施状況		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
子どもの読書活動推進体制整備事業	○子どもの読書活動全般に係る方針等を検討し、その推進に資する。 ○子どもの読書推進に係る課題等について検討するとともに、各地域における推進体制の構築を図る。	<b>ア 岩手県子どもの読書活動推進委員会</b> ①第1回委員会(6/18 県立図書館)：12人(R2報告、R3計画等) ②第2回委員会(1/28 県立図書館) ※実施予定 <b>イ 子どもの読書活動推進体制整備事業(各地域事業)</b> ①盛岡教育事務所：(1/27) ※実施予定 ②中部教育事務所：花巻合庁(5/12) 15人 ③県南教育事務所：奥州市水沢図書館(5/26) 14人 ④沿岸南部教育事務所：大船渡市文化会館(5/14) 15人 ⑤宮古教育事務所：(2/8) ※実施予定 ⑥県北教育事務所：洋野町立大野図書館(5/25) 20人 <b>ウ 岩手県子どもの読書状況調査</b> 県内における児童生徒の読書に係る状況の調査を通じ、経年の推移等を把握するとともに、今後の施策展開の基礎資料とする。 <b>【調査スケジュール】</b> ・11月 1日(月)～9日(火)：調査実施期間 ・11月16日(火)：各学校→各市町村教育委員会へ集計表提出〆切 ・11月19日(金)：各市町村教育委員会→各教育事務所へ集計表提出〆切 ・11月29日(月)：各教育事務所→生涯学習文化財課提出〆切
子どもの読書活動普及啓発事業	○子どもの読書推進に係る総合的な計画を策定し公表する。 ○小中高生の読書活動推進に資する。	<b>ア 「第4次岩手県子どもの読書活動推進計画」の周知・普及</b> ・各種会議・研修会等、あらゆる機会を通じて紹介、啓発 <b>イ ブックリスト『いわての小学生のためのおすすめ図書100選』及びブックリスト『いわての中高生のためのおすすめ図書100選』活用促進</b> <b>【いわ100きつず・いわ100の配付】</b> ・新小学1年生及び新中学1年生に配付(8/10業者より発送) ・指導者用(予備)、掲載図書一覧も配付(各校10冊) ・いわ100きつず掲載図書一覧(エクセル)をまなびネットいわてに掲載 ・令和4年度も新小学1年生及び新中学1年生に配付予定

<p>子どもの読書活動推進研修事業</p>	<p>○県域全体及び県内各地域の実情等に対応した読書に係るボランティア等の資質の向上を図る。</p> <p>○中高生の更なる読書活動推進のために、学校と関係機関との連携体制の構築及び担当者の資質の向上を図る。</p>	<p><b>ア 読書ボランティア等研修会</b></p> <p>&lt;生涯学習推進センター主管研修&gt;</p> <p>①中央研修会：生涯学習推進センター(6/15) 99人</p> <p>&lt;各教育事務所主管研修&gt;</p> <p>②盛岡教育事務所：(12/3) 48人</p> <p>③中部教育事務所：子ども本の森他(12/24) 51人</p> <p>④県南教育事務所：(11/27) 36人</p> <p>⑤沿岸南部教育事務所：中止：コロナの影響</p> <p>⑥宮古教育事務所：中止：コロナの影響</p> <p>⑦県北教育事務所：中止：コロナの影響</p> <p><b>イ 中・高等学校図書館担当者等研修会</b></p> <p>&lt;各教育事務所主管研修&gt;</p> <p>①盛岡教育事務所：(7/7)盛岡合庁 61人</p> <p>②中部教育事務所：(7/27)北上市生涯学習センター 39人</p> <p>③県南教育事務所：(6/25)東山地域交流センター 56人</p> <p>④沿岸南部教育事務所：中止：コロナの影響</p> <p>⑤宮古教育事務所：(7/29)宮古市総合福祉センター 32人</p> <p>⑥県北教育事務所：(7/9)久慈合庁 31人</p>
<p>その他</p>	<p>表彰関係</p>	<p>「子供の読書活動優秀実践図書館・団体(個人)」に対する文部科学大臣表彰</p> <p><b>【推薦スケジュール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月1日(金)：各教育事務所→生涯学習文化財課提出〆切</li> <li>・11月5日(金)：推薦選考委員会</li> <li>・12月3日(金)：文部科学省あて提出</li> </ul>
<p>(3) 成果 (○) と課題 (●) ・令和4年度事業の方向性 (☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ センター及び各教育事務所が実施する「読書ボランティア研修会」では、スキルアップや情報交換等の参加者のニーズに対応した企画・講師招聘・運営がなされており、充実した研修事業を展開することができている。併せて、「第4次岩手県子どもの読書活動推進計画」について周知・普及を進める機会にもなっている。</li> <li>○ 各地域の推進体制整備事業は、地域の実態に応じて、内容や対象者等を工夫し計画・実施されている。</li> <li>○ 「中高等学校担当者研修会」の開催内容に関わり、中学校、高校の実践内容の発表や交流等を効果的に組み込むことにより、図書館経営や教科と関連した指導等の情報共有や、取組へ向かう意欲を高めることにつながった。</li> <li>● 各地域の推進体制整備においては、引き続き幼保小中高関係者との連携強化を図る必要がある。併せて、「第4次岩手県子どもの読書活動推進計画」に基づいた事業についての十分な検討が必要である。</li> </ul>		

施 策	地域学校協働活動・教育振興運動推進事業	
<p>(1) 施策の方向（令和3年度の重点的取組）</p> <p>ア 新5か年計画の周知を図り、地域学校連携・協働を推進するための方策を探る。</p> <p>イ 「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組について、拡大を続ける子どもたちの情報メディア利用の現状と課題に対応する取組を進める。</p> <p>ウ コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との連携による、「目指す子どもの姿」の共有に基づく運動を展開する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
教育振興運動推進幹事会	教育振興運動の推進に関する事項について協議を行う。	<p>期 日 ①2月1日（火）予定</p> <p>会 場 県庁10階 教育委員室</p> <p>内 容 ・R3 事業実施状況・運動推進状況について ・R4 運動推進方針・推進事業について</p>
地域学校協働活動推進検討委員会	<p>(1) 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）のネットワークを構築する。</p> <p>(2) 地域学校協働活動に関わる人材の養成に向けた方策等の検討を行う。</p>	<p>期 日 ①7月30日（水）21人 ②12月21日（火）25人</p> <p>会 場 県立図書館 研修室</p> <p>内 容 ・養成研修講座のあり方について</p>
市町村担当者研修会	地域学校協働活動と教育振興運動の取組を総合的かつ一体的に進めるための方策等について理解を深める。	<p>期 日 6月1日（火）</p> <p>場 所 生涯学習推進センター</p> <p>対 象 ・市町村地域学校協働活動担当者、教育振興運動推進担当者 ・教育事務所社会教育主事、教育振興運動担当指導主事 ・県教育振興運動推進幹事等</p> <p>内 容 ①行政説明 「地域学校協働活動と教育振興運動」について ②講話 「村総ぐるみの教育活動 ～コミュニティ・スクールと教育振興運動の一体的な推進～」</p> <p>参加者 59人</p>
「学校を核とした地域づくり」推進事業	<p>(1) 地域学校協働活動と教育振興運動の総合的かつ一体的な推進を目指し、関係者に対する研修機会を提供する。</p> <p>(2) 市町村及び地域（推進組織及び体制）の継続的な支援を行う。</p>	<p>ア 「地域学校協働活動・教育振興運動」推進研修会</p> <p>【中部】 期 日 11月30日（火）予定 場 所 推進センター 主 催 花巻市 内 容 事例発表 参加者 51人</p> <p>【県北】 ①期 日 8月4日（水） 場 所 久慈市役所会議室 内 容 講義、説明、質疑 参加者 32人 ②期 日 6月28日（月） 場 所 軽米町役場会議室 内 容 説明、質疑 参加者 25人 ③期 日 10月24日（日） 場 所 洋野町民文化会館 内 容 説明、研修 参加者 35人</p>

<p>「学校を核とした地域づくり」推進事業</p>	<p>(1) 地域学校協働活動と教育振興運動の総合的かつ一体的な推進を目指し、関係者に対する研修機会を提供する。</p> <p>(2) 市町村及び地域（推進組織及び体制）の継続的な支援を行う。</p>	<p>【県北】④期 日 10月29日（金）      会 場 二戸地区合同庁舎      内 容 説明、講義      参加者 43人</p> <p>イ 学校と地域の連携・協働研修会      期 日 8月6日（金）      場 所 推進センター      内 容 実践発表、講義      参加者 129人</p> <p>ウ 地域学校協働活動推進員養成研修講座      【盛岡】 9月30日（木）14人      【中部】 6月9日（水）19人      【県南】 11月8日（月）8人      【沿南】 10月12日（火）23人      【宮古】 11月10日（木）7人      【県北】 10月5日（火）34人</p> <p>エ 地域学校協働活動推進員研修会      期 日 11月22日（月）予定      場 所 推進センター      内 容 講義・演習      参加者 39人</p> <p>オ 「学校を核とした地域づくり」の推進に係る訪問支援      内 容 ①地域学校協働活動の充実      ②推進体制の整備等      方 法 管内市町村の求めに応じて訪問</p>
---------------------------	--	---

- (3) 成果 (○) と課題 (●) ・令和4年度事業の方向性 (☆)
- 市町村担当者研修会、教育事務所開催の推進研修会等による、関係者に対する「新5か年プラン」の周知・啓発
  - 『学校を核とした地域づくり』の推進に係る訪問支援」等を活用した市町村への継続的な支援
  - 推進検討委員会委員の講師招聘による、推進員養成研修講座の開催、内容の充実
  - 「地域学校協働活動・教育振興運動」推進研修会、市町村担当者研修会のもち方の検討
  - 市町村や地域の実態に即した支援の継続
  - ☆ 推進検討委員会委員の参画による、推進員養成研修講座のブラッシュアップ

施 策		いわて地域・学校連携促進事業	
1 施策の方向			
学校を取り巻く諸問題に地域全体で対応し教育効果を高めるため、学校が地域の人々と目標を共有し、一体となって子供たちを育むコミュニティ・スクールを促進する等、地域・学校の連携強化を支援する。			
2 事業実施状況 (R3)			
項 目	事業名	趣旨等	実施状況
(1) 情報発信	ア 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム (地区別)	「地域とともにある学校づくり」の充実方策について、コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) や地域学校協働活動の効果的な取組事例の発表等を通じて考え、各地区における円滑かつ効果的なコミュニティ・スクールの導入や取組の充実に資する。	ア 期日 6～8月 イ 対象 学校関係者 (小中義務教育学校は1名悉皆)、PTA関係者、教育委員会関係者、学校運営協議会委員、地域学校協働活動関係者等 ※計609人参加 ウ 会場 各教育事務所管内 ・盛岡地区 (6/11 姫神ホール)138人 ・中部地区 (6/28 生涯学習推進センター)110人 ・県南地区 (7/ 7 前沢ふれあいセンター)171人 ・沿岸南部地区 (7/ 6 三陸公民館)72人 ・宮古地区→8/19【中止】 ・県北地区 (6/23 二戸市民文化会館)118人 エ 内容 講演、事例発表等
	イ 啓発リーフレット	CS導入に向けて導入モデル等の情報を発信する。	・コミュニティ・スクール通信の発行
(2) 行政説明	ウ 市町村教育委員会訪問説明会	関係者が共通認識のもと地域と学校の連携・協働の一層の推進が図られるよう、教育委員会の学校教育及び社会教育関係者 (首長部局を含む) を対象に県施策の方向性に関して説明し、各市町村の動向を伺う。	・滝沢市社会教育委員会議 (7/16) 23名 ・岩手町教育委員会 (9/22) 10名 ・野田村教育委員会 (11/11) 20名 ・九戸村教育委員会 (11/18) 12名
(3) 支援及び事例収集	エ 地域学校連携・協働推進支援	教育関係機関、園や学校、社会教育関係機関及び団体の要請に応じて、県教育委員会の地域学校連携担当指導主事及び社会教育主事が訪問支援をすることにより、地域学校連携・協働推進のための諸課題解決や「コミュニティ・スクール」へのスムーズな導入等に資する。	※花巻清風支援学校CS (4/27) 20名 (7/5) 20名 (8/6) 50名 ・洋野町教育課程研究会一斉研修会 ※Zoom対応 (5/11) 100名 ・遠野市校長会研修会 (6/2) 20名 ・八幡平市CS推進協議会 (6/28) 25名 ・県北教育事務所管内社会教育担当者研修会 (7/2) 13名 ・一関市学校運営協議会連携校長会議 (7/12) 18名 ・山田町副校長・主幹教諭研修会 (7/28) 6名 ・久慈市CS導入に向けた研修会 (8/4) 30名 ・盛岡市教育研究所公開講座 (8/5) 65名 ※県立副校長協議会気仙支会 (8/5) 10名 (11/9) 10名 ・宮古市立川井小・中合同研修会 (10/4) 2名 ※一関清明支援学校学校運営協議会準備委員会 (11/4) 15名 ・八幡平市CS推進協議会 (11/29) 50名 ・九戸村CS説明会 (11/30) 13名
※：学校教育室対応			

	オ 社会教育施設の有効活用	地域学校の連携・協働の望ましい在り方を社会教育施設活用の視点から考える。	取組事例の収集
(4) 調査・研究	カ 地域学校連携・協働推進モデル研究指定	地域と学校が連携・協働する方策の一つである小・中学校及び義務教育学校におけるコミュニティ・スクール導入の在り方についての研究を進め、本県の地域と学校の連携・協働の改善充実を図ることができるように本事業を実施し、その成果の普及を図る。	北上市教育委員会（2年目）
	キ 連携・協働に関する実態把握や意識調査	関係者の意識調査を行い、連携・協働に関する本県の実態を把握する。	・2021年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査
(5) 研修	ク 総合教育センター等研修	管理職・教諭等を対象にした研修を行うことによって、地域・学校連携に関する理解を深める。	・総合教育センター 授業力向上研修 「小学校（教科外）」7/28, 1/7 「中学校（教科外）」8/10 「高等学校（教科外）」8/2 ※学校教室対応 「特別支援学校（教科外）」7/28 ※学校教室対応 新任教務主任研修講座 6/8 キャリア教育実践講座 6/10
(6) 検討	ケ 検討委員会	地域学校連携・協働の在り方に関して、本庁各課一体となった推進のため、必要な事項を検討する。	第1回:【中止】令和3年8月24日(火) 第2回: 令和4年1月20日(木)

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

①「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」について、教育事務所ごとに、実情に応じた内容で実施したことにより、参加者からの満足度が高かった。

<参考>※参加者アンケートより、「フォーラム全体」について

盛岡教育事務所 : 「役に立った」79% 「どちらかといえば役に立った」21%  
 中部教育事務所 : 「有意義」78% 「どちらかといえば有意義」20%  
 県南教育事務所 : 「とても良かった」68% 「良かった」27%  
 沿岸南部教育事務所: 「役に立った」87% 「どちらかといえば役に立った」9%  
 県北教育事務所 : 「役に立った」79% 「どちらかといえば役に立った」11%

②これまでの取組及び各事務所の働きかけ等により、来年度、県内全ての市町村がコミュニティ・スクールを導入する見込みとなった。

#### (2) 課題

・県内全ての公立学校がコミュニティ・スクールとなるには、あと2～3年かかる見通しである。今後も導入支援を継続する必要があるとともに、導入後のコミュニティ・スクールが機能しているかどうか、継続してフォローする必要がある。

### 4 今後の方向性について

主な項目	令和4年度の取組（案）
1 情報発信・共有 ① 地域とともにある学校づくり推進フォーラムについて	・令和3年度に引き続き、教育事務所ごとに管内の実情に応じた内容で実施。【継続】
② 啓発リーフレットについて	・「コミュニティ・スクール通信」の発行。【継続】
2 行政説明	・要請等に応じた実施。【継続】
3 支援及び事例収集	・学校、各種団体等からの要請に応じた支援の実施。【継続】 ・全国及び県内のコミュニティ・スクール導入市町村等からの情報収集。【継続】
4 調査・研究	・コミュニティ・スクール導入状況調査等の実施。【継続】 ・地域学校連携・協働推進モデル研究指定事業は、令和3年をもって終了。【終了】 ※実践事例の交流はフォーラムにて
5 研修	・授業力向上研修等の実施。【継続】

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）推進状況

市町村教育委員会（小・中・義務教育学校）

1 導入市町村数及び導入学校数 ※県立中学校（一関第一中学校）含む

年度	県内		<参考>全国	
	市町村数及び学校数	導入率	学校数	導入率
H29	4市町村 17校	3.5%	3600校	11.7%
H30	6市町村 30校	6.3%	5432校	14.7%
R1	6市町村 34校	7.3%	6767校	23.7%
R2	11市町村 60校	13.2%	8681校	30.7%
<b>R3（5.1現在）</b>	<b>16市町村 73校</b>	<b>16.4%</b>	10486校	37.3%
R4（見込み）	33市町村 297校	67.7%		
R5（見込み）	33市町村 361校	84.9%		
R6（見込み）	33市町村 419校	99.3%		

2 導入市町村及び導入学校の内訳

《内訳》 ※市町村は全ての学校が導入済み

H19～【岩泉町】 H19:岩泉小、岩泉中、H20:小本小、小本中、H21:小川中、~~再々~~（R2 廃） R2:小川小

H25 【普代村】 普代小、普代中

H28 【大槌町】 大槌学園、吉里吉里小、吉里吉里中

H29 【金ヶ崎町】 金ヶ崎小、三ヶ尻小、第一小、西小、永岡小、金ヶ崎中

H30～【八幡平市】 H30:安代小、寄木小 R1:平館小、寺田小、西根中、西根第一中  
R2:大更小、田頭小、平笠小、松野小、柏台小、田山小、松尾中、安代中

【山田町】 H30:豊間根小、船越小、山田中、荒川~~小~~（R2 廃）、夫沢小（R2 廃）、山田北小（R2 廃）、  
山田南小（R2 廃）、織笠小（R2 廃）、轟本小（R2 廃）、夫浦小（R2 廃）、豊間根中（R2 廃）  
R2:山田小

R2 【矢巾町】 徳田小、煙山小、不動小、矢巾東小、矢巾中、矢巾北中

【陸前高田市】 高田小、気仙小、広田小、小友小、米崎小、矢作小、竹駒小、横田小、高田第一中、高田東中

【一戸町】 奥中山小、奥中山中

【田野畑村】 田野畑小、田野畑中

【北上市】 黒沢尻北小、鬼柳小、南小、上野中、南中

R3 【雫石町】 雫石小、七ツ森小、西山小、御明神小、御所小、雫石中

【紫波町】 西の杜小、紫波第三中

【花巻市】 湯本小、湯本中

【二戸市】 仁左平小、福岡中

【軽米町】 軽米小

————は統廃合による減少

3 市町村教育委員会の導入意向 ※R3.5.1現在

分類	教育事務所	市町村数
既に地教行法に基づくコミュニティ・スクールを導入している。	【盛岡】	4
	【中部】	2
	【県南】	1
	【沿南】	2
	【宮古】	3
	【県北】	4
	計	<b>16</b>
2022（R4）年度に、地教行法に基づくコミュニティ・スクールを導入する計画がある。	【盛岡】	4
	【中部】	2
	【県南】	3
	【沿南】	3
	【宮古】	1
	【県北】	4
	計	<b>新規17（累計33）</b>

・令和4年度には、県内全ての市町村がコミュニティ・スクールを導入する見込み。

※<参考> アクションプラン「コミュニティ・スクール導入市町村数」R3:25 R4:33

## エ 成人・高齢者の学習活動の支援

施 策	成人・高齢者の学習活動の支援	
<p>(1) 施策の方向</p> <p>ア 現代的な課題に対応したプログラムの企画・立案を促進する。</p> <p>イ 県民の生涯学習ボランティア活動の活性化を図るため、学習で得た成果を地域社会における諸活動に生かす環境の整備に努める。</p> <p>ウ 個人学習の充実を図るため、各種メディアの活用による講座への参加を奨励するとともに、図書館、博物館等社会教育施設の活用を促進する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
<p>現代的課題対応プログラム促進事業</p>	<p>現代的な課題に関する専門的研修を実施し、資質の向上を図る。</p>	<p>ア 事業プログラム企画運営研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月20日 参加者44人 (オンラインによる開催)</li> </ul> <p>イ コミュニケーションスキルアップ研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月4日 参加者53人</li> </ul> <p>ウ 学校と地域の連携・協働研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月6日 参加者129人</li> </ul> <p>エ 広報スキルアップ研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月23日 参加者23人</li> <li>・ 10月13日 参加者64人</li> </ul>
<p>教育メディア利用促進事業</p> <p>16mm映写機操作技術講習会</p>	<p>映画機材の適切な使用管理のため、必要な知識と技術を関係者に習得させ、その認定を行い指導者の養成を図る。</p>	<p>ア 期 日 随時</p> <p>イ 会 場 各協議会等</p> <p>ウ 内 容 講義、実習</p> <p>エ 実 績 のべ5回(54人) ※12月末現在</p>
<p>生涯学習情報提供システム運営事業 (再掲)</p> <p>学習メニューのHP掲載</p>	<p>県民の学習活動を支援するため、県と市町村及び関係機関が相互に連携・協力し、インターネットの活用等による学習者のニーズに応じた情報の提供を図る。</p>	<p>ア HP「まなびネットいわて」の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者・ボランティア情報</li> <li>・ 講座・イベント情報</li> <li>・ 団体・グループ情報</li> <li>・ 教材・施設・新聞記事情報</li> <li>・ 子育てサポーター</li> </ul> <p>イ メールマガジン提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いわてマナビィマガジン</li> <li>・ すこやかメールマガジン</li> </ul> <p>ウ 県立生涯学習推進センター情報発行</p>
<p>高齢者の学習活動支援・活用場の情報提供等</p>		<p>世代間交流や青少年関連事業、学校支援活動、子どもの居場所づくり、教育振興運動等への高齢者の参加促進及び活動状況の県民への事例周知等</p>
<p>(3) 成果 (○) と課題 (●)</p> <p>○ 現代的な課題に関する専門的研修のプログラムの企画・立案し、対象者のニーズに応じた効果的な事業の実施に努めている。また、各地域視聴覚教育協議会等との連携のもと、16mm映写機操作技術講習会を継続的に計画されている。</p> <p>○ 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」による県民への情報提供を行っている。今後も学習情報データベースの充実を図るとともに、メールマガジンの配信等を含め、多様なツールを活用しながら情報提供に努めたい。</p> <p>● 高齢者の学習活動支援・活用については、学校支援活動、教育振興運動等の活動状況に関する情報の収集や提供等について、市町村及び関係機関の協力を得ながら一層の充実を図っていく必要がある。</p>		



## オ 社会教育の充実

施 策	指導体制の充実	
<p>(1) 施策の方向</p> <p>ア 生涯学習を今後、一層推進するためには、社会教育に関する専門的な人材が必要とされていることから、市町村教育委員会事務局に専任社会教育主事の設置促進を図るため、社会教育主事講習の受講等を奨励し、市町村における社会教育職員体制が充実するよう助言指導する。</p> <p>イ 市町村の社会教育指導員の独自設置を促すとともに、社会教育指導員の資質向上のための研修を充実する。</p> <p>ウ 県研修及び文部科学省、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター等が主催する専門研修の受講を計画的にすすめるとともに研修体制の確立を図る。</p> <p>エ 社会教育関係職員等の資質の向上を図るために、社会教育に関するメールマガジンの配信を定期的に行う。</p> <p>オ 市町村社会教育職員を支援するため、県社会教育主事による出前研修を積極的に行う。</p> <p>カ 社会教育関係団体の自主活動を促進するため、活動費補助を行うとともに、国及び県レベルの指導者研修への参加を奨励し、指導者の養成確保と資質の向上を図る。</p> <p>(2) 事業実施状況</p> <p>ア 諸会議の開催</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
岩手県社会教育委員会会議	社会教育に関する諸計画の立案並びに調査研究を行い、本県社会教育の振興を図る。	<p>ア 期 日 ①7月19日(月) ②1月21日(金)</p> <p>イ 会 場 サンセール盛岡</p> <p>ウ 内 容</p> <p>① 7月19日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度主要施策について</li> <li>・今後求められる施策の方向性について</li> </ul> <p>② 1月21日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度主要施策の実施状況報告及び令和4年度事業計画の説明について</li> <li>・今後求められる施策の方向性について協議のまとめ検討</li> <li>・令和4年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について</li> </ul>
岩手県社会教育主事等会議	本県社会教育行政の方針や計画について共通理解を深め、その展開に必要な助言指導の内容を協議するとともに、行政施策推進上の課題を明らかにし、本県社会教育の振興を図る。	<p>ア 期 日 ①4月7日(水)～8日(木) ②11月16日(火) ③2月16日(水) ※予定</p> <p>イ 会 場 ①サンセール盛岡 ②野外活動センター ③盛岡地区合同庁舎</p> <p>ウ 内 容 県生涯学習文化行政の方針と計画、研修、県生涯学習文化事業の反省と次年度計画、国庫補助事業の計画、研修等</p>
市町村社会教育主管課長会議 (教育事務所主管事業)	県社会教育行政の方針並びに施策の重点等について理解を深めるとともに、市町村社会教育行政の推進に資する。	<p>ア 期日 4月(6か所)</p> <p>イ 会場 各教育事務所等</p> <p>ウ 内容 県生涯学習文化行政の方針と計画、県及び市町村生涯学習文化行政の推進</p>

<p>「チーム社教」推進事業</p>	<p>県社会教育主事等でチームを編成し、市町村生涯学習・社会教育行政の実態を把握し、市町村の課題や支援方策等を検討・整理するとともに具体的な取組を通して、本県社会教育の一層の推進を図る。</p>	<p>ア 期日 通年  イ 会場 各市町村等  ウ 実施状況 (12月末現在) ※予定含む</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事務所</th> <th>月日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">盛岡</td> <td>8/ 2</td> <td>八幡平市子どもリーダー研修会における指導及び運営支援</td> </tr> <tr> <td>8/20 延期</td> <td>盛岡教育事務所管内社会教育係長等会議への参加</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">中部</td> <td>9/16</td> <td rowspan="5">遠野市で学校運営協議会制度導入に向けて行われる「熟議」の場に、ファシリテーターとして支援(順に綾織、達曾部、遠野北、小友、鱒沢、土淵、宮守、遠野、附馬牛、青笹の各小学校区で実施)</td> </tr> <tr> <td>22</td> </tr> <tr> <td>27</td> </tr> <tr> <td>30</td> </tr> <tr> <td>10/22</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県南</td> <td>11/ 2</td> <td rowspan="3">一関市子ども健全育成プラン指導者等合同研修会における指導及び運営支援</td> </tr> <tr> <td>8</td> </tr> <tr> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">宮古</td> <td>26</td> <td rowspan="3">宮古地区社会教育関係職員等研修会を通じた市町村社会教育行政の実態把握と今後の支援のあり方の検討</td> </tr> <tr> <td>12/ 7</td> </tr> <tr> <td>11/10</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県北</td> <td>5/10</td> <td rowspan="3">山田町子ども活動サポーター育成講座における指導及び運営支援</td> </tr> <tr> <td>11</td> </tr> <tr> <td>10/23</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">県北</td> <td>11/ 6</td> <td rowspan="5">県北教育事務所管内社会教育担当者会議におけるCS研修の実施</td> </tr> <tr> <td>27</td> </tr> <tr> <td>7/ 2</td> </tr> <tr> <td>9/16</td> </tr> <tr> <td>10/24</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">県北</td> <td>11/26</td> <td rowspan="2">洋野町教育振興会実践区リーダー研修会における行政説明及び情報メディアに係る研修の実施</td> </tr> <tr> <td>2/18</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">県北</td> <td>11/26</td> <td rowspan="2">県北教育事務所管内社会教育担当者会議における青少年健全育成に係る活動の紹介</td> </tr> <tr> <td>2/18</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">県北</td> <td>11/26</td> <td rowspan="2">県北教育事務所管内社会教育担当者会議における体験活動の紹介</td> </tr> <tr> <td>2/18</td> </tr> </tbody> </table>	事務所	月日	内容	盛岡	8/ 2	八幡平市子どもリーダー研修会における指導及び運営支援	8/20 延期	盛岡教育事務所管内社会教育係長等会議への参加	中部	9/16	遠野市で学校運営協議会制度導入に向けて行われる「熟議」の場に、ファシリテーターとして支援(順に綾織、達曾部、遠野北、小友、鱒沢、土淵、宮守、遠野、附馬牛、青笹の各小学校区で実施)	22	27	30	10/22	県南	11/ 2	一関市子ども健全育成プラン指導者等合同研修会における指導及び運営支援	8	19	宮古	26	宮古地区社会教育関係職員等研修会を通じた市町村社会教育行政の実態把握と今後の支援のあり方の検討	12/ 7	11/10	県北	5/10	山田町子ども活動サポーター育成講座における指導及び運営支援	11	10/23	県北	11/ 6	県北教育事務所管内社会教育担当者会議におけるCS研修の実施	27	7/ 2	9/16	10/24	県北	11/26	洋野町教育振興会実践区リーダー研修会における行政説明及び情報メディアに係る研修の実施	2/18	県北	11/26	県北教育事務所管内社会教育担当者会議における青少年健全育成に係る活動の紹介	2/18	県北	11/26	県北教育事務所管内社会教育担当者会議における体験活動の紹介	2/18
事務所	月日	内容																																																	
盛岡	8/ 2	八幡平市子どもリーダー研修会における指導及び運営支援																																																	
	8/20 延期	盛岡教育事務所管内社会教育係長等会議への参加																																																	
中部	9/16	遠野市で学校運営協議会制度導入に向けて行われる「熟議」の場に、ファシリテーターとして支援(順に綾織、達曾部、遠野北、小友、鱒沢、土淵、宮守、遠野、附馬牛、青笹の各小学校区で実施)																																																	
	22																																																		
	27																																																		
	30																																																		
	10/22																																																		
県南	11/ 2	一関市子ども健全育成プラン指導者等合同研修会における指導及び運営支援																																																	
	8																																																		
	19																																																		
宮古	26	宮古地区社会教育関係職員等研修会を通じた市町村社会教育行政の実態把握と今後の支援のあり方の検討																																																	
	12/ 7																																																		
	11/10																																																		
県北	5/10	山田町子ども活動サポーター育成講座における指導及び運営支援																																																	
	11																																																		
	10/23																																																		
県北	11/ 6	県北教育事務所管内社会教育担当者会議におけるCS研修の実施																																																	
	27																																																		
	7/ 2																																																		
	9/16																																																		
	10/24																																																		
県北	11/26	洋野町教育振興会実践区リーダー研修会における行政説明及び情報メディアに係る研修の実施																																																	
	2/18																																																		
県北	11/26	県北教育事務所管内社会教育担当者会議における青少年健全育成に係る活動の紹介																																																	
	2/18																																																		
県北	11/26	県北教育事務所管内社会教育担当者会議における体験活動の紹介																																																	
	2/18																																																		

イ 社会教育関係職員研修の充実（現職教育） ①基本研修・領域別研修・専門研修・社会教育関係団体との共催事業 ※生涯学習推進センター事業実施計画に掲載 ②文部科学省・文化庁・国立教育政策研究所社会教育実践研究センター研修講座等		
全国生涯学習センター等研究交流会	全国の生涯学習センター等の職員等が集い、当面する課題について研究協議等を行う。	ア 期 日 5月27日(木) ※オンラインによる開催 イ 内 容 講義・事例研究、グループ協議等 エ 受講者 1人（推進センター）
公民館職員専門講座	公民館職員として必要な高度かつ専門的な知識・技術について研修を行い、地域の指導者的立場にある公民館職員としての力量を高める。	ア 期 日 6月3日(木)～8日(火) ※オンラインと集合による研修での開催 イ 会 場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（※以下国社研と記載） ウ 内 容 講義、シンポジウム、事例研究等 エ 受講者 なし
博物館長研修	新任の博物館長等に対し、博物館の管理・運営、サービスに関する専門知識や、博物館を取り巻く社会の動向などについて研修を行い、博物館運営の責任者としての力量を高める。	ア 期 日 10月6日(水)～8日(金) ※オンラインによる開催 イ 内 容 基調講演、講義、シンポジウム等 ウ 受講者 1名（奥州市）
美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	全国の小・中・高等学校等の教員と美術館の学芸員などが一堂に会し、グループ討議等を行うことにより、美術館を活用した鑑賞教育の充実及び学校と美術館の一層の連携を図る。	ア 期 日 11月29日(月) 12月5日(日) ※オンラインによる開催 イ 内 容 講演、事例紹介、グループワーク等 ウ 受講者 1名（県南教育事務所）
新任図書館長研修	新任の図書館長に対し、図書館に関する基本的な知識を教授し、館長の資質の向上を図る。	ア 期 日 8月31日(火)～9月3日(金) ※オンラインによる開催 イ 内 容 講義等 ウ 受講者 4名（県立図書館、雫石町、宮古市、久慈市）
社会教育主事専門講座	社会教育主事として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県の指導的立場にある社会教育主事としての力量を高める。	ア 期 日 11月9日(月)～12日(木) ※オンラインによる開催 イ 内 容 講義、実践交流、シンポジウム等 ウ 受講者 1名（推進センター）
地域教育力を高めるボランティアセミナー	社会教育実践研究センターにおける地域と学校の連携・協働の推進に係る調査研究の成果等について周知を図るとともに、研究協議や情報交換等を通して、参加者相互の交流を図る。	ア 期 日 12月13日(月)～14日(火) ※オンラインによる開催 イ 内 容 調査報告、事例発表、事例研究、グループ協議等 ウ 受講者 （直接申込のため把握不可）

<p>図書館司書専門講座</p>	<p>司書として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、指導的立場になりうる司書及び図書館経営の中核を担うリーダーとしての力量を高める。</p>	<p>ア 期 日 6月17日(木)～30日(水) ※オンラインと集合による研修での開催 イ 会 場 国社研 ウ 内 容 講義、事例研究、演習等 エ 受講者 なし</p>
<p>博物館学芸員専門講座</p>	<p>学芸員として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、指導的立場になりうる学芸員としての力量を高める。</p>	<p>ア 期 日 12月2日(木)～6日(月) ※オンラインによる開催 イ 内 容 講義、事例研究、シンポジウム等 ウ 受講者 2名(北上市、奥州市)</p>
<p>社会教育主事講習</p>	<p>社会教育法第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程に基づき、文部科学省より委嘱を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習を実施するもの。</p>	<p>&lt;弘前大学&gt; ア 期 日 7月13日(火)～8月6日(金) ※弘前大学での集合研修と生涯学習推進センターでの集合(オンライン)研修による開催 イ 会 場 弘前大学、生涯学習推進センター ウ 内 容 講義、演習、グループ研究等 エ 受講者 12名(うち教員6名) &lt;国社研&gt; ア 社会教育主事講習[A] ・期 日 7月26日(月)～8月23日(月) ※オンラインと集合による研修での開催 ・会 場 国社研等 ・内 容 講義、演習等 ・受講者 なし イ 社会教育主事講習[B] ・期 日 1月24日(月)～2月21日(月) ・会 場 生涯学習推進センター(岩手会場) ・内 容 講義(WEB配信)、演習等 ・受講者 16名(本県12名)</p>

## 社会教育関係団体活動費補助事業

社会教育法第13条による補助金交付団体

＜総括団体＞

岩手県社会教育関係団体連絡協議会

＜構成10団体＞

1 岩手県青年団体協議会	6 (一社)岩手県PTA連合会
2 日本ボーイスカウト岩手連盟	7 岩手県高等学校PTA連合会
3 ガールスカウト岩手県連盟	8 岩手県社会教育連絡協議会
4 NPO法人岩手県地域婦人団体協議会	9 岩手県ユネスコ連絡協議会
5 岩手県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会	10 岩手県子ども会育成連合会

(3) 成果(○)と課題(●)・令和4年度事業の方向性(☆)

①県社会教育主事等会議

- 県施策や新型コロナウイルス対策等について共通理解を図る貴重な機会となった。
- 講話や部会別情報交換等により、有益な情報を共有することができた。
- 第2回会議は内容を縮小し1日開催とした。協議時間の確保等、課題について今後検討を進めていく。
- ☆ 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、会議内容の充実に努め、参加者の理解を図る。

②国の研修会等への参加について

- 広く周知を図り、希望に沿って研修に参加する体制を進めることができた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で参加奨励について、積極的に行うことができなかった。
- ☆ 新型コロナウイルスの感染状況に応じた参加奨励を行うとともに、研修参加に係る旅費の計画的な執行に努め、関係者の資質向上へつなげていく。

③社会教育団体補助金について

- 各団体とも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め、工夫しながら、地域の実情やニーズを踏まえた活動を展開している。
- ☆ 団体に対する補助金等の支援について、全国的に縮小される傾向にあるが、県の施策の方向性に対する貢献度が高いことから、今後も継続した事業の実施に努めたい。

④「チーム社教」推進事業について

- 各教育事務所が中心となり、管内市町村の課題解決につながる実態把握、事業支援等に取り組んだ。新型コロナウイルスの影響を受けながらも各地域の実態に応じて柔軟に推進している。
- ☆ 本県の課題と考える「公民館・地区センターの実態把握や運営支援」に焦点を当てた事業を展開し、課題の解決につなげていきたい。

⑤社会教育主事講習について

- 昨年度中止された「弘前大学社会教育主事講習」が開催され、教員の若手有資格確保を目的とした「社会教育主事有資格者教員養成事業」において、4名の教員を派遣することができた。
- 生涯学習推進センターを会場に「社会教育主事講習[B]」を開催する。県外に派遣することが難しい市町村やNPO法人等の職員の社会教育主事・社会教育士養成の機会を確保できた。
- ☆ 来年度は秋田での開催を予定している。より多くの受講を得られるよう早目の周知を行うとともに、推薦者の旅費を公費負担する「社会教育主事有資格者教員養成事業」を引き続き実施する。
- ☆ 講習受講により「社会教育士」を称することができることを、広く周知していく。

## カ 文化財の保護

施策	文化財の保存と管理	
(1) 施策の方向 文化財の有効な活用を図るため、計画的な学術調査を実施のうえ指定を推進し、貴重な文化財の保護を行う。 文化財の現状を把握し、必要な保存修理等の事業を計画的に進める。		
(2) 事業実施状況		
事業名	趣旨	実施状況
文化財保護審議会	文化財の保護活用を図るため、専門的な意見を徴する。	ア 第1回 令和3年9月（書面開催） イ 第2回 令和4年2月4日 ・岩手県指定文化財に関する審議
文化財指定推進調査事業	文化財の指定を促進し保護活用を図るため、詳細な学術調査を行う。	指定候補物件調査 4件
文化財パトロール事業	文化財保護指導員による保存管理実態の把握、及び指導・助言。	11名の保護指導員により、県下一円を年間通じてパトロールする
文化財保護管理事業	市町村等が行う文化財保存修理事業等に対し、経費の一部を補助する。	ア 史跡等総合整備活用推進事業 無量光院跡、毛越寺境内附鎮守社跡、旧観自在王院庭園（平泉町）、御所野遺跡（一戸町）、橋野高炉跡（釜石市）、柳之御所・平泉遺跡群（白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡）（奥州市） イ 指定有形文化財修理防災事業 中尊寺金色堂、木造不動明王坐像（平泉町）、旧吉田家住宅（陸前高田市）、村上家住宅（一関市）、木造十一面観音立像（大船渡市）、木造十一面観音菩薩立像（釜石市）、木造大日如来坐像、木造十一面観音菩薩立像（花巻市）、太田家住宅（奥州市）
史跡等公有化事業	市町村が行う史跡公有化事業に対して経費の一部を補助する。	ア 史跡等公有化事業：江釣子古墳群（北上市）、九戸城跡（二戸市）
カモシカ特別対策事業	カモシカ食害対策事業に対し、経費の一部補助及び生息調査を実施し、保護と被害防止を図る。	ア 食害防止用忌避剤塗布等 2町 イ 保護地域特別調査 南奥羽山系 ウ 保護地域通常調査 北上山地 北奥羽山系
銃砲刀剣類登録事業	銃砲刀剣類所持等取締法第14条の規定による登録	ア 登録審査 県庁：奇数月20日（隔月実施） イ 登録件数 令和3年12月31日現在34,230件
(3) 成果（○）と課題（●） ○ 文化財の調査と新たな指定により、保存と活用への道が開かれた。 ○ 計画的に事業を実施し、文化財の保護等を推進した。 ● 文化財の保存修理等には多額の費用を要することから、計画的・重点的に事業を進める必要がある。 ● 東日本大震災津波により被災した文化財等については、被災ミュージアム再興事業により修復や被災地博物館等への支援を行っているが、今後も継続した支援が必要となっている。		

施策	埋蔵文化財の保護	
<p>(1) 施策の方向 我が国の歴史や文化を知るうえで欠くことのできない埋蔵文化財を適切に保護し活用を図るため、各種開発事業との調整、調査研究を行うための施設の拡充、出土資料の適切な保存、管理を行う。</p>		
<p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
県内遺跡調査事業	開発事業に先立ち埋蔵文化財の保護を図るため、遺跡の分布状況を把握し、確認調査を実施する。	ア 分布調査（現地踏査） 42件（前年40件） イ 試掘、立会調査 30件（前年43件） ※件数は令和3年12月1日現在
埋蔵文化財包蔵地周知事業	遺跡の所在を広く周知し、その保護の徹底を図る。	ア 遺跡台帳・遺跡基本図の整備 イ 〃 (DVD-ROM版)の作製、配布 ウ 〃 WEBによる遺跡地図の公開準備 エ 開発事業に係る遺跡の確認調査と事前協議 オ 市町村文化財担当者の研修、指導助言
埋蔵文化財緊急調査事業	市町村が埋蔵文化財の記録保存のために行う緊急調査に対し、経費の一部を助成する。	次の事業に対して助成した。 ア 発掘調査等 18市町村
農業基盤整備関連埋蔵文化財発掘調査事業	農業基盤整備に伴う発掘調査事業の一部を負担する。（発掘調査及び報告書の刊行）	<発掘調査・整理作業> ア 経営体育成基盤整備事業 若柳中部地区（奥州市） 明神下遺跡 イ 経営体育成基盤整備事業 真城南地区（奥州市） 中林下遺跡 ウ ほ場整備事業 泉沢・中平地区（野田村） 平清水Ⅰ・Ⅱ遺跡 ほか
県立埋蔵文化財センター管理運営	埋蔵文化財の調査及び保護並びに出土品、資料の整理研究等を実施する。	ア 所報「わらびて」、紀要を編集、刊行 イ 発掘技術講習会、埋蔵文化財展、公開講座を実施。 ウ 出土遺物の分類、収蔵、保存業務
<p>(3) 成果 (○) と課題 (●)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 埋蔵文化財の保護のため、遺跡の所在を確認し周知徹底を図るとともに、開発事業に対しては、埋蔵文化財についての理解と協力のもとに調整を図り、一部については発掘調査を実施して記録保存を行った。</li> <li>○ 発掘調査で得られた出土品の公開、調査研究、保存活用、譲与等を円滑に行うため、出土遺物や写真資料等の再整理及び再収納を行った。</li> <li>○ 県内埋蔵文化財担当者の資質向上を図るための研修会を毎年実施しているが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の措置を講じたうえで開催した。（R2年度は中止）</li> <li>○ 事業量の急激な増加や専門職員の定年退職等により、県内市町村からの支援依頼が寄せられたことから、県教委による調査支援を実施した。（北上市、花巻市、山田町、雫石町、岩泉町、普代村、野田村）</li> </ul>		

施 策	平泉文化の調査研究の推進と情報発信	
<p>(1) 施策の方向 国指定史跡柳之御所遺跡内の土地の公有化を行い、内容確認の発掘調査を進めながら、史跡整備を実施する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
柳之御所遺跡土地公有化事業	史跡柳之御所遺跡内に残る民有地の公有化を推進する。	用地取得 ※地権者の同意が得られないため、平成28～R3年度休止
柳之御所遺跡整備調査事業	史跡柳之御所遺跡を整備し、教育的活用を図る。	ア 内容確認のための発掘調査の実施 イ 調査整備指導委員会の開催 ウ 柳之御所史跡公園の公開 エ 第I期整備完了に伴う整備報告書を作成 オ 遺跡整備工事の実施
平泉文化研究機関整備推進事業	平泉文化に係る調査研究を推進し、平泉を研究する人材の育成を行いながら、本県の学術文化レベルの向上を図るとともに、世界遺産拡張登録への契機とする。	ア 「平泉文化の総合的研究基本計画」(第3期)の開始 (R2～R6年度) イ 平泉文化研究に係る調査研究の推進 ウ 平泉学研究会(研究者対象)の開催 ・令和4年2月5日(土) ・平泉世界遺産ガイダンスセンターで開催(リモート参加主体) エ 平泉学フォーラム(一般対象)の開催 ・令和4年2月6日(日) ・平泉町 ホテル武蔵坊(コンベンションホール)で公開及び映像配信により実施(予定) オ 研究成果の普及啓発活動 ・研究年報の刊行
<p>(3) 成果(○)と課題(●)・令和4年度事業の方向性(☆)</p> <p>○ 柳之御所遺跡の「堀外部地区」を対象とする発掘調査を実施中。今年度調査では柳之御所遺跡と中尊寺(金色堂)を繋ぐ道路跡が堀内部地区に向かって延伸していること、新旧2時期ある道路状遺構を被覆する土器集積から遺構年代を想定する資料が得られた。</p> <p>● 「平泉文化の総合的研究基本計画」(第3期)に基づく発掘調査の年次計画見直しの検討を進めているところであり、R6年度の研究総括を見据えた調査の進捗管理を行うことが必要。</p>		



施 策	世界遺産登録の推進	
<p>(1) 施策の方向 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産の新規登録、「平泉の文化遺産」の拡張登録の実現を図るとともに、本県の世界遺産の価値の理解の更なる増進や保存活用の取組を推進する。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
世界遺産登録推進事業	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録や「平泉の文化遺産」の拡張登録に向けた取組等を実施する。	<p>ア 御所野遺跡の世界遺産登録 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産のひとつとして、世界文化遺産に登録（7月27日）</p> <p>イ 縄文フォーラム（予定） 令和4年3月13日（日）：アートホテル盛岡</p> <p>ウ 平泉文化遺産の拡張登録に関する委員会第17回開催済、第18回年度内開催予定</p>
世界遺産保存活用推進事業	「平泉の文化遺産」「明治日本の産業革命遺産（橋野鉄鉱山）」「北海道・北東北の縄文遺跡群（御所野遺跡）」に対する県民の理解と関心を促す。	<p>ア 世界遺産に関する出前授業 全8回実施（うち知事による授業2回）</p> <p>イ 児童・生徒向けガイドブック配付 （令和4年3月配布予定）</p> <p>ウ 教員への普及啓発に向けた現地研修会 平泉研修8名、橋野鉄鉱山研修4名参加</p> <p>エ 世界遺産パネル展 3回開催（県民室、東京事務所、イオンタウン釜石）</p> <p>オ 御所野遺跡PRキャラバン 県南地域・沿岸地域で各2日間開催予定</p>
平泉文化遺産ガイドンス施設整備事業	「平泉の文化遺産」を総合的に情報発信、紹介するための施設を整備する。	平泉世界遺産ガイドンスセンター開館 令和3年11月20日、知事はじめ関係者出席の下、開館セレモニーを開催
<p>(3) 成果 (○) と課題 (●)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業の縮小を余儀なくされた。</li> <li>● 御所野遺跡の世界遺産登録を踏まえた保存・活用の推進と、本県が有する3つの世界遺産に係る理念普及や興味・関心の向上に注力していく。</li> <li>● 春以降の行楽シーズンに向けて、平泉世界遺産ガイドンスセンターへの来訪促進に取り組んでいく。</li> </ul>		

キ 社会教育施設等の環境整備

施 策	社会教育施設の整備充実	
<p>(1) 施策の方向            県民の生涯学習を支援、援助するため、県立の社会教育施設の整備を図るとともに、市町村の社会教育施設整備計画の指導、調整を進め、住民の多様かつ専門的な学習活動に応える。また、施設設備や教育機器の有効活用を図り、学習効果の向上に努める。</p> <p>(2) 事業実施状況</p>		
事業名	趣 旨	実 施 状 況
<p>県立青少年の家施設整備充実事業</p>	<p>利用者の安全確保やサービスの向上、施設の機能を充実させるため、改修工事等を行う。</p>	<p>【県南青少年の家】            ・カラン取替及び混合栓交換</p> <p>【県北青少年の家】            ・給水施設ろ材交換工事            ・カラン取替</p> <p>【陸中青少年の家】            ・防火設備改修工事            ・給水ポンプ更新工事            ・非常用発電機更新工事            ・カラン取替</p>
<p>地域視聴覚ライブラリーの整備充実</p>	<p>県内地域視聴覚ライブラリーの設置の充実と機能の強化を図り、学校教育及び社会教育の学習方法の改善に資するとともに、視聴覚ライブラリー相互の連携を強化し、視聴覚教材や教材の利用を促進する。</p>	<p>・県立図書館視聴覚資料団体貸出部門（視聴覚ライブラリー）（県立図書館）            ・盛岡教育事務所管内教育振興協議会（盛岡市）            ・花巻市立図書館視聴覚教育ライブラリー（花巻市）            ・遠野市視聴覚ライブラリー（遠野市）            ・北上市視聴覚ライブラリー（北上市）            ・西和賀町視聴覚ライブラリー（西和賀町）            ・県南第一地域視聴覚教育協議会（奥州市）            ・県南第一《江刺分館》（奥州市江刺区）            ・県南第一《一関分館》（一関市）            ・県南第一《千厩分館》（一関市千厩町）            ・大船渡市視聴覚ライブラリー（大船渡市）            ・釜石市視聴覚ライブラリー（釜石市）            ・大槌町視聴覚ライブラリー（大槌町）            ・宮古市視聴覚ライブラリー（宮古市）            ・山田町視聴覚ライブラリー（山田町）            ・岩泉町視聴覚ライブラリー（岩泉町）            ・久慈市視聴覚ライブラリー（久慈市）            ・二戸市視聴覚ライブラリー（二戸市）</p>
<p>県立美術館施設整備事業</p>	<p>美術館の適切な維持管理及び施設利用者の安全とニーズに配慮した施設運営を図る。</p>	<p>・直熱吸収冷温水発生器オーバーホール            ・受変電設備更新工事            ・スクリーン冷凍機更新工事</p>
<p>県立博物館施設整備事業</p>	<p>博物館の適切な維持管理及び施設利用者の安全とニーズに配慮した施設運営を図る。</p>	<p>・直流電源装置更新工事</p>

(3) 成果 (○) と課題 (●)

- 青少年の家の施設整備により、利用者へのサービスの向上が図られるとともに、利用の増加が期待される。
- 地域視聴覚協議会及び各視聴覚ライブラリーは、市町村合併等に伴い、単独市町村運営のライブラリーが増加傾向にある。今後、利用者へのサービスを維持していくとともに、視聴覚教材利用の向上が図られるよう、指導を行っていきたい。



令和4年度

---

# 生涯学習・文化財行政の 事業計画（案）

---

令和4年1月21日現在

生涯学習・文化財行政の体系

- 1 生涯学習の推進
- 2 家庭教育の支援
- 3 青少年の学習活動の支援
- 4 成人・高齢者の学習活動の支援
- 5 社会教育の充実
- 6 文化財の保護
- 7 社会教育施設等の環境整備

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

# 令和4年度 生涯学習・文化財行政の体系

## いわて県民計画 2019～2028

I 健康余暇 II 家族・子育て III 教育 VII 歴史・文化

～東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて～

### 岩手県教育振興計画

計画  
期間

2019年度～2023年度  
までの5年間

#### 岩手の教育をめぐる状況

##### 1 岩手の教育の歩み

- ・ 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行
- ・ 教育振興運動や「いわて教育の日」などの取組の推進
- ・ 学習定着度状況調査による「わかる授業」の実践
- ・ 県立美術館、県立図書館の整備等
- ・ 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催
- ・ 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山の世界遺産登録

##### 2 社会状況の変化

- ・ 人口減少・少子化・高齢化の進行
- ・ 急速な技術革新やグローバル化の進展
- ・ 子どもを取り巻く社会経済的な課題の表面化
- ・ 地域間格差の拡大
- ・ 東日本大震災津波からの復旧・復興

##### 3 岩手県の教育の現状と課題

###### 学校教育

- 子どもたちをめぐる課題
  - ・ 授業力の向上や家庭学習の定着
  - ・ 情報社会に主体的に対応する力の育成
  - ・ 運動習慣の定着
  - ・ 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導
  - ・ いじめへの適切な対応
  - ・ 問題行動等の未然防止、早期発見・適切な対応
- 教職員のスキルの継承と負担の増加
  - ・ 働き方改革による「チームとしての学校」の推進
- 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境
  - ・ 大学入試制度改革への対応
  - ・ 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実
- 学校の統廃合や施設の老朽化
  - ・ 教育の質の保証と学ぶ機会の保障

###### 社会教育・家庭教育

- 家庭の状況変化
  - ・ 社会全体での教育力の向上
- 地域コミュニティの変化
  - ・ 教育振興運動や生涯学習による  
地域コミュニティの維持向上
- 人生100年時代の到来
  - ・ 生涯にわたって学び続けられる環境づくり
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
  - ・ 文化芸術やスポーツの推進と  
地域への愛着の醸成





目指す姿

社会教育・家庭教育

県民が、主体的・相互的に連携し、助け合うことにより、家庭の教育力の向上に努めるとともに、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加により、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活しています。

取組の視点

視点1

岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進

視点2

郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成

視点3

学びの場の復興の更なる推進

<具体的な施策の内容>

社会教育・家庭教育

<具体的な推進方策>

学校と家庭・地域との協働の推進

- 学校・家庭・地域が連携するしくみづくり
- 多様な体験活動の充実
- 地域学校協働活動の推進 等

子育て支援や家庭教育支援の充実

- 子育てや家庭教育に関する学習活動支援
- 電話やメール等による相談体制の充実
- 子育て支援グループのネットワークづくり 等

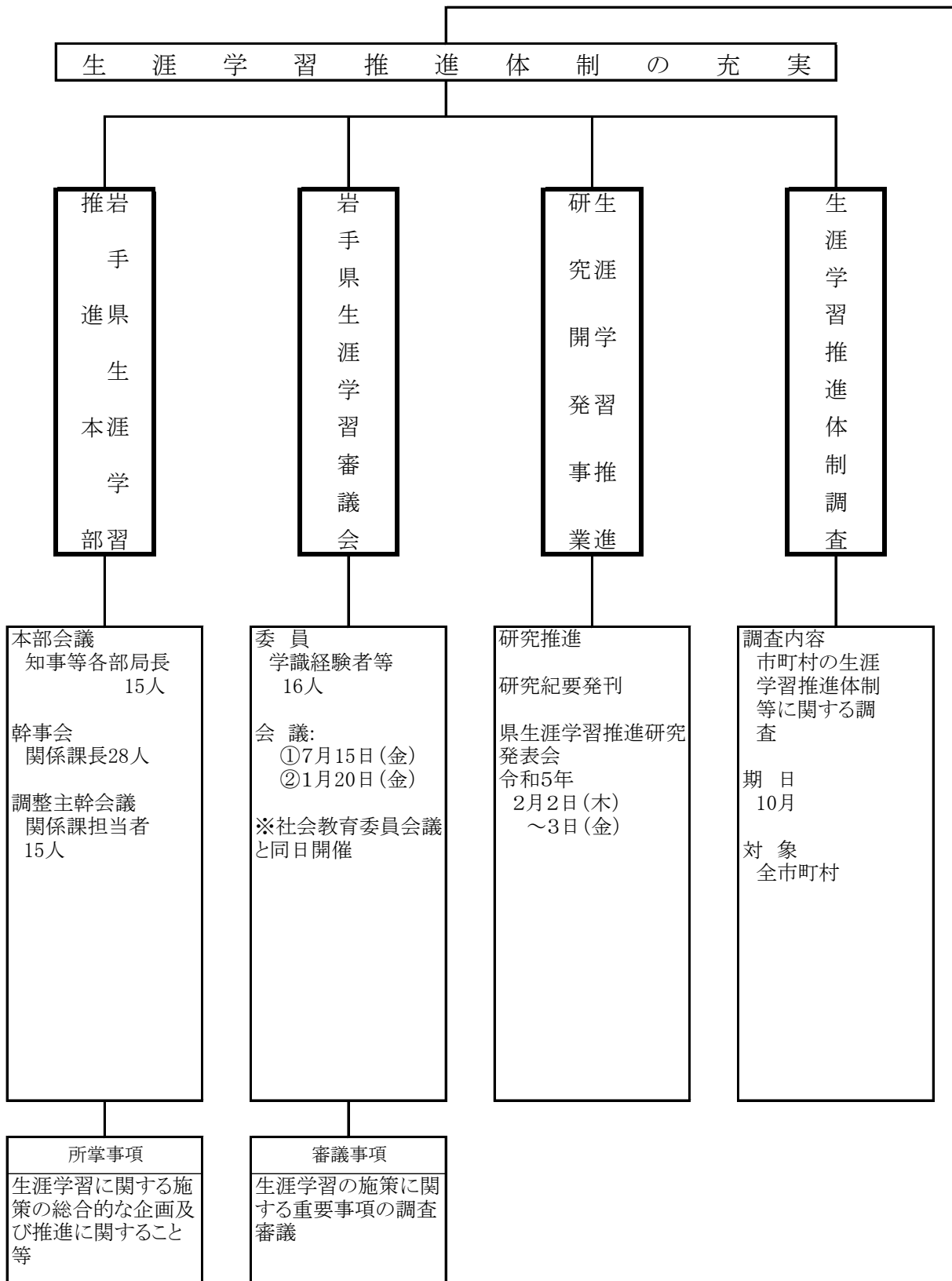
生涯にわたり学び続ける環境づくり

- 多様な学習機会の充実
- 学びと活動の循環による地域の活性化
- 社会教育の中核を担う人材の養成・確保と研修の充実 等

次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

- 学校における特別活動や文化部活動による郷土芸能の継承
- 文化財の適切な保存と継承 等

# 1 生涯学習の推進



## 生涯学習推進体制の充実

岩手県生涯学習推進部

本部会議  
知事等各部局長  
15人  
  
幹事会  
関係課長28人  
  
調整主幹会議  
関係課担当者  
15人

所掌事項  
生涯学習に関する施策の総合的な企画及び推進に関すること等

岩手県生涯学習審議会

委員  
学識経験者等  
16人  
  
会議:  
①7月15日(金)  
②1月20日(金)  
  
※社会教育委員会  
同日開催

審議事項  
生涯学習の施策に関する重要事項の調査審議

研究生涯学習推進

研究推進  
  
研究紀要発刊  
  
県生涯学習推進研究  
発表会  
令和5年  
2月2日(木)  
~3日(金)

生涯学習推進体制調査

調査内容  
市町村の生涯学習推進体制等に関する調査  
  
期日  
10月  
  
対象  
全市町村



生涯学習の普及奨励

生涯学習情報提供

- HP「まなびネットいわて」の運用  
ア 指導者・ボランティア情報  
イ 講座・イベント情報  
ウ 団体・グループ情報  
エ 教材情報  
オ 施設情報  
カ 相談・支援 等
- メールマガジン提供
- 県立生涯学習推進センター情報紙発行
- SNS（フェイスブック、ツイッター）の運用

生涯学習ボランティア事業

- 生涯学習ボランティアセンターの一元化・再構築化  
・データについては生涯学習推進センターに一元化  
・各教育事務所単位での相談業務は継続
- 生涯学習ボランティア等に関する情報の提供（HP「まなびネットいわて」に掲載）

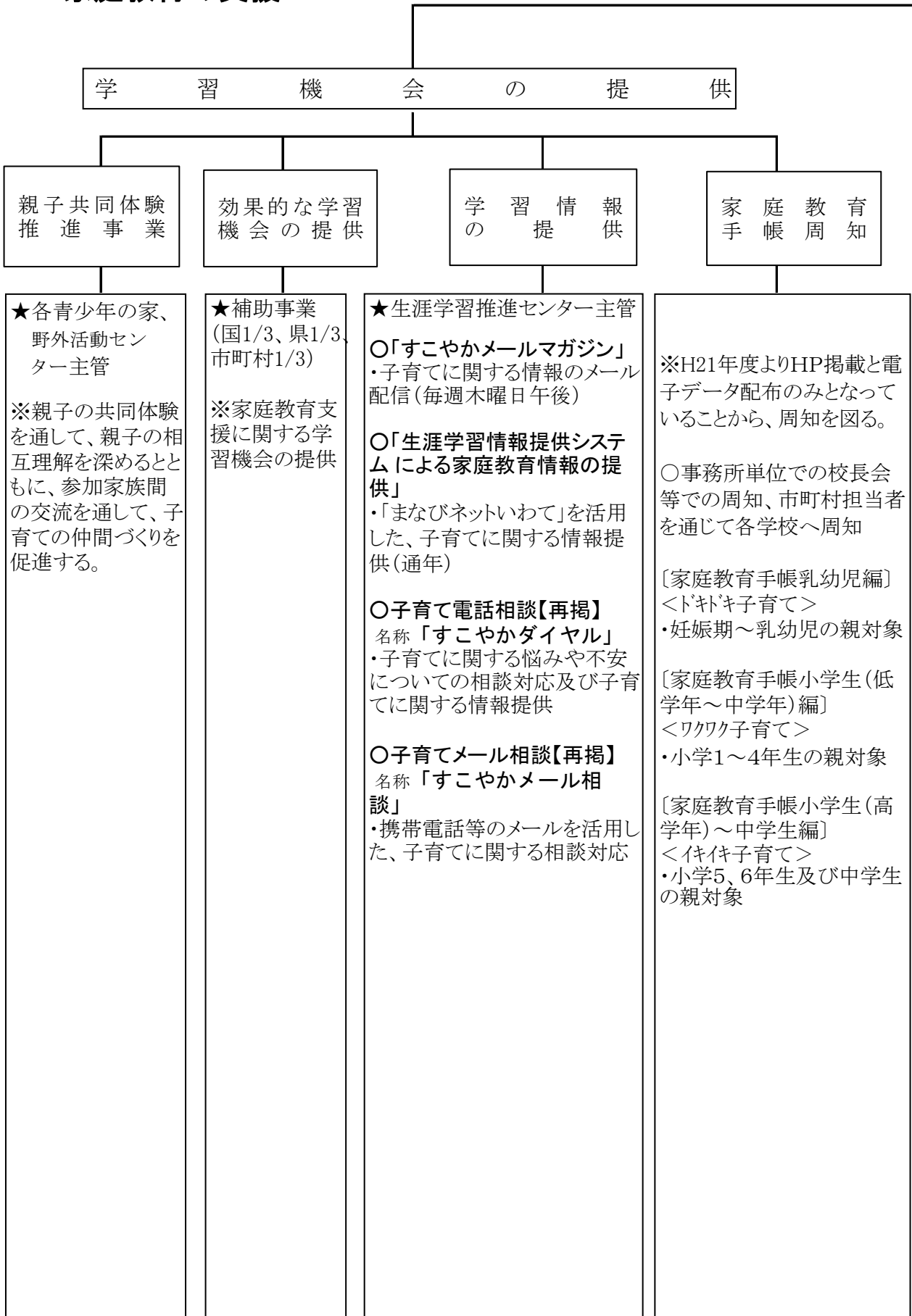
生涯学習相談

- 開設日 月～金
- 時間 9:00～17:00
- 電話 0198 (27) 4563
- 担当 専門職員等

高等学校卒業試験

- 期日  
①8月4日(木)～5日(金)  
②11月5日(土)～6日(日)
- 対象 高校を卒業していないなどのため、大学入学資格を有していない者
- 場所 生涯学習推進センター(予定)
- \*要項は県が配布
- \*願書の提出は直接国へ

## 2 家庭教育の支援



家庭教育を支える環境づくり

相談体制の充実  
意識啓発

家庭教育  
支援体制整備

子育てサポーター等の  
スキルアップ・支援関係者のネットワークづくりによる活動促進

放課後児童支援員  
認定資格研修

★生涯学習推進センター  
主管

- 子育て電話相談  
名称 「すこやかダイヤル」  
・子育てに関する悩みや不安についての相談対応及び子育てに関する情報提供
- 子育てメール相談  
名称 「すこやかメール相談」  
・携帯電話等のメールを活用した、子育てに関する相談対応
- 「すこやかメールマガジン」【再掲】  
・子育てに関する情報のメール配信(毎週木曜日午後)

- ★補助事業 (国1/3、県2/3)
- 促進委員会の開催  
期日 年2回  
(5月20日、1月23日)  
会場 サンセール盛岡  
内容 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進に向けた事業内容の検討、検証・評価等を行う。
- 委員 有識者、児童福祉関係者、教育係等
- 視察 8～12月
- 家庭教育・子育て支援担当者研修会  
目的 行政担当者等のスキルアップ  
回数 1回(センター主管)  
内容 講演、グループ協議  
対象 行政担当職員等
- 子育て・家庭教育相談担当者研修会  
目的 電話相談担当者等のスキルアップ  
回数 2回(センター主管)  
内容 講話、講義  
対象 電話相談担当者等

- ★生涯学習推進センター  
主管
- 地域安全防災研修会  
目的 行政担当者等のスキルアップ
- 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会  
目的 指導者等のスキルアップ

★補助事業 (国1/3、県2/3)

- 子育て支援活動交流  
研修会  
目的 関係者の資質向上とネットワーク形成  
回数 推進センター1回(センター主管)  
内容 講義、事例発表、ワークショップ  
対象 子育てサポーター、行政担当職員、支援団体関係者等
- 地区家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会  
目的 支援者の資質向上、地域の課題解決のためのネットワーク構築  
回数 教育事務所管内各1回程度(事務所主管)  
内容 管内の課題による  
対象 上記研修会に同じ

★補助事業 (国1/2、県1/2)

- ※放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正(H26.4)に伴い、県が実施する研修を子ども子育て支援課と共催で開催し、子育て家庭を支援する。  
主催 子ども子育て支援室  
共催 生涯学習文化財課  
主管 生涯学習推進センター
- 岩手県放課後児童支援員認定資格研修  
期日 6月～11月  
会場 3会場  
内容 講義、演習等(16科目24時間程度)  
対象 放課後児童クラブ等での従事を希望している方または従事している方

### 3 青少年の学習活動の支援①

子どもの読書活動推進事業	
子どもの読書活動推進体制整備事業	子どもの読書活動推進研修事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○岩手県子どもの読書活動推進委員会 (6月17日、1月27日)</li> <li>・ 県全域における推進方針検討</li> <li>・ 推進状況の評価 等</li> <li>○子どもの読書活動推進体制整備事業 (各地域事業)</li> <li>・ 各地区における推進体制の整備</li> <li>・ 各教育事務所主管</li> <li>○岩手県子どもの読書状況調査</li> <li>対象期間：10月1日～31日</li> <li>調査対象：県内の公立小学校5年生・ 中学校2年生（義務教育 学校5年・8年）・高校 2年生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書ボランティア等研修会 (中央研修)</li> <li>・ 県内全域を対象とした読書ボランティア等の 資質向上を図る</li> <li>・ 生涯学習推進センター主管</li> <li>○読書ボランティア等研修会 (各地域研修)</li> <li>・ 地域の実情に応じた研修会</li> <li>・ 各教育事務所主管</li> <li>○中・高等学校図書館担当者等研修会</li> <li>・ 学校と関係機関との連携体制構築及び担当者 の資質向上を図る</li> <li>・ 各教育事務所主管</li> </ul>
子どもの読書活動普及啓発事業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○岩手県子どもの読書活動推進計画 【第4次】の周知・普及</li> <li>・ 各種会議、研修会等における周知</li> <li>○ブックリスト「いわ100（中高生向 け）」及び「いわ100きっず（小学生 向け）」の活用促進</li> <li>・ 中学1年生及び小学1年生への配付</li> <li>・ 活用例等の情報提供</li> <li>※「いわ100きっず」は、令和4年度改訂</li> </ul>	

## 青少年の家等プログラム充実事業

- 県立各青少年の家等におけるプログラム開発
  - ・特色ある自然体験プログラム
  - ・不登校児童生徒等対応プログラム
  - ・地域人材のボランティア養成プログラム
  - ・復興、防災教育プログラム

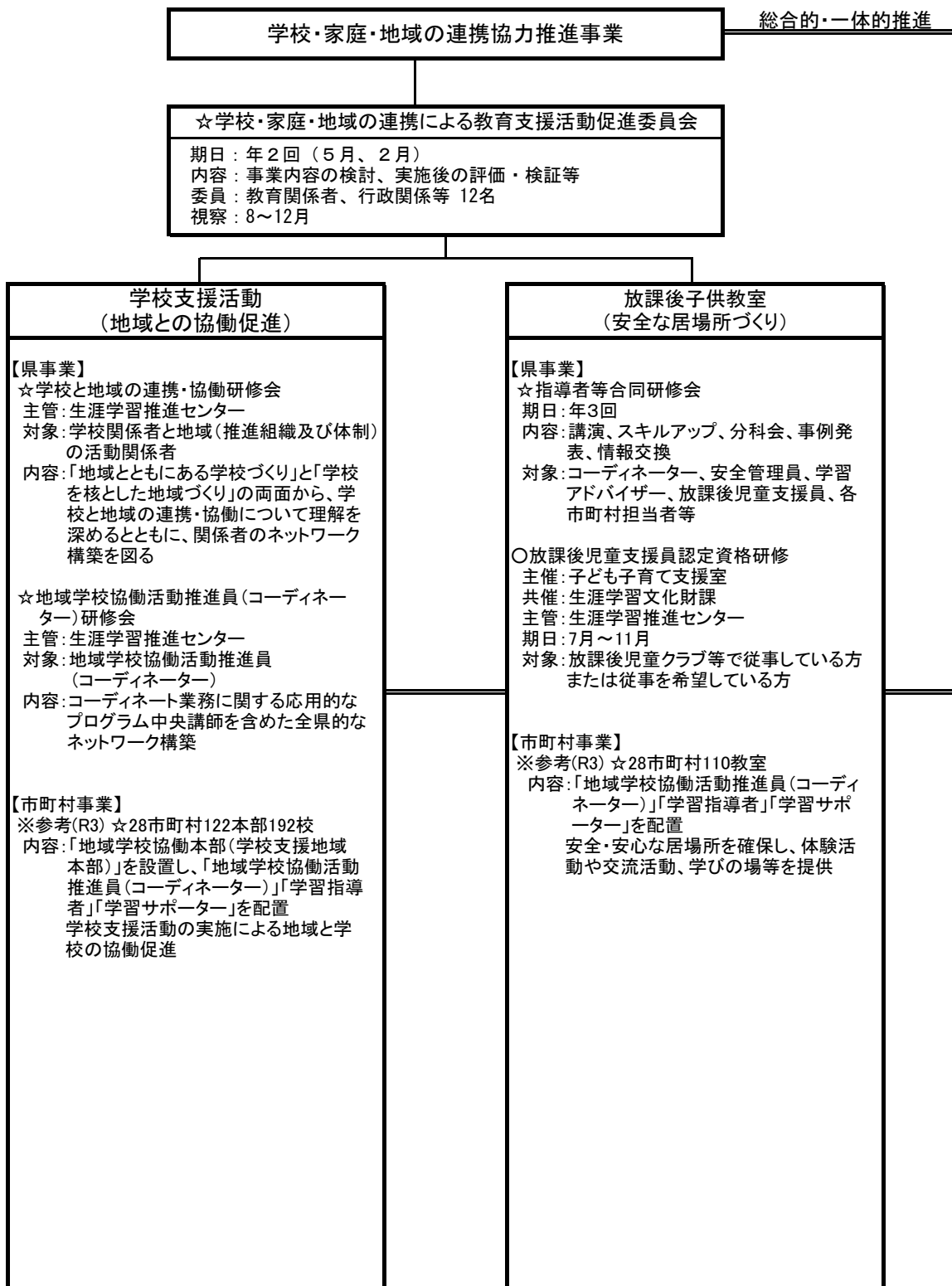
## 青少年健全育成連携事業

若者女性協働推進室  
・青少年育成県民会議連携

- いわて希望塾
  - ・期日と場所
    - ①11月2日（土）  
県北青少年の家
    - ②11月12日（土）  
野外活動センター
  - ・内容：知事講話、グループディスカッション等
- わたしの主張岩手県大会
  - ・期日：9月14日（水）
  - ・場所：小田島組☆ホール  
（予定）
  - ・内容：中学生による意見発表
- わたしの主張地区大会
  - ・期日：8月～9月
  - ・場所：各警察署管内
  - ・内容：中学生による意見発表
- 情報メディア対応促進事業
  - ・教振運動との連携
  - ・出前講座
  - ・講師派遣に係る情報提供
  - ・相談窓口紹介
- 立入調査
  - ・不健全図書立入調査
  - ・隔月実施
- いわて家庭の日
  - ・家族・親子のふれあいを啓発する県民運動を推進
  - ・毎月第3日曜日

子どもゆめ基金

### 3 青少年の学習活動の支援②(学校と地域の連携・協働)



地域学校協働活動・教育振興運動推進事業

連携  
目標共有

いわて地域学校連携促進事業

教育振興運動推進幹事会

期日：年1回（2月）  
幹事：教委12名＋知事部局2名  
内容：運動の推進方針の検討、運動の評価と反省  
視察：7～12月

地域学校連携・協働推進検討委員会

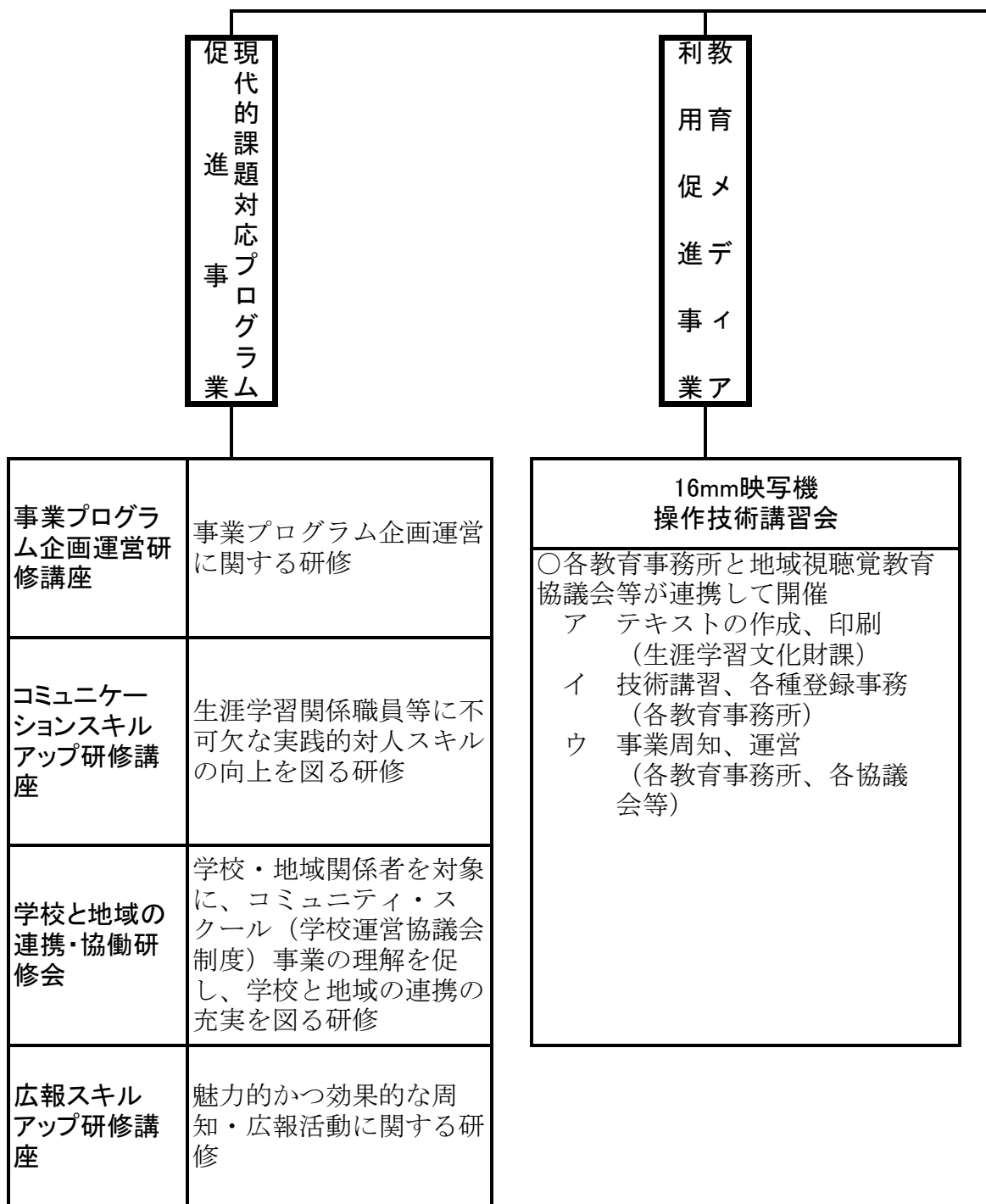
期日：年2回  
委員：関係室課・機関 17名  
内容：地域学校連携・協働推進検討委員会の所掌  
事務及び本県施策に関する協議

- 「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会  
主管：生涯学習文化財課  
期日：5月18日  
場所：生涯学習推進センター  
対象：市町村担当者、教育事務所担当者  
内容：行政説明、演習等
- 「地域学校協働活動・教育振興運動」地域活性化推進事業
  - ・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）地区別研修講座  
主管：教育事務所  
対象：今後、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の役割を担うことが考えられる保護者及び地域住民、等  
内容：各地域で活動している推進員（コーディネーター）の参画により設定  
上記推進員を中心とした各地域のネットワーク構築
  - ・「地域学校協働活動・教育振興運動」の充実や推進体制の整備等を目的にする訪問支援  
主管：教育事務所  
内容：地域学校協働活動の充実や推進体制の整備等を目的に実施する訪問支援

- 地区「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム  
期日：各教育事務所と調整  
場所：各教育事務所管内  
内容：実践事例発表、パネルディスカッション等
- 教育委員会説明会（要請に応じて実施）  
期日：各市町村教育委員会と調整  
場所：各市町村庁舎内  
内容：国および県施策の説明
- 地域学校連携・協働推進支援事業（訪問支援）  
期日：通年  
場所：各市町村、学校、地区等  
内容：指導主事・社教主事が連携し、各町村等が抱える課題解決のための事業等に対し、要請に応じて支援を実施する。
- 社会教育施設の有効活用  
期日：通年  
場所：各青少年教育施設等  
内容：社会教育施設を活用した授業の取組事例を収集・紹介する。

（注）☆が付いている事業  
R2までは、被災者総合交付金事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」（国10/10）ならびに国庫事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」（国1/3、県1/3、市町村1/3）構成事業として実施  
R3からは、全て国庫事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」（国1/3、県1/3、市町村1/3）構成事業として実施

## 4 成人・高齢者の学習活動の支援





(再掲)

シ生  
ス涯  
テ学  
ム習  
運情  
営報  
事提  
業供

用高  
の齡  
場者  
のの  
情学  
報習  
提活  
供動  
等支  
援・  
活

学障  
習が  
活い  
動者  
のの  
推生  
進涯  
を通  
じた

### 学習メニューのHP掲載

- HP  
「まなびネットいわて」  
の運用
- ア 指導者・ボランティア情報
- イ 講座・イベント情報
- ウ 団体・グループ情報
- エ 教材・施設・新聞記事情報
- オ 子育てサポーター
  
- メールマガジン提供
- ア いわてマナビィマガジン
- イ すこやかメールマガジン
  
- 県立生涯学習推進センター情報発行

- ・世代間交流  
や青少年関連  
事業、学校支  
援活動、子ど  
もの居場所づ  
くり、教育振  
興運動等への  
高齢者の参加  
促進及び活動  
状況の県民へ  
の事例周知等

### 学習支援体制整備

- 障がい者の学校卒業後の学び  
の基盤づくり
- 関係各課による庁内連携会  
議（年2回）
- 市町村担当者研修会  
（年1回）
- 学習活動を支える人材の育  
成
- 実践交流

### 調査・研究

- 市町村担当者調査
- 県立生涯学習推進センター  
における研究テーマとしての設  
定
- ニーズ調査等

### 学習情報の提供等

- 関係各課、各市町村への情  
報提供
- 文部科学大臣表彰等による  
好事例の紹介

# 5 社会教育の充実

## 指導体制の充実

**諸会議の開催**

県社会教育委員会議  
 ・第1回 7/15  
 ・第2回 R5 1/20

県社会教育主事等会議  
 ・第1回 4/7、8  
 ・第2回 11/15,16  
 ・第3回 R5 2/15

市町村主管課長会議  
 ・各教育事務所  
 ・4月

都市社会教育主管課長会議  
 ・滝沢市(予定)

**人的体制の充実**

社会教育主事講習の受講促進  
 社会教育主事の配置促進

(再掲)

「いわてマナビマガジン」の配信

・教育振興運動など生涯学習・社会教育に関する最新トピックを月2回配信。

社会教育関係職員研修の充実	
<p><b>【生涯学習推進センター関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村職員・関係職員研修</li> <li>新任生涯学習関係職員研修講座</li> <li>社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座</li> <li>センター・公民館・主管課職員等セミナー</li> <li>人づくり・地域づくり関係職員等研修講座</li> <li>事業プログラム企画運営研修講座</li> <li>コミュニケーションスキルアップ研修講座</li> <li>学校と地域の連携・協働研修会</li> <li>地域安全防災研修会</li> <li>ICTスキルアップ研修講座</li> <li>家庭教育・子育て支援担当者研修会</li> <li>子育て・家庭教育相談担当者研修会</li> <li>岩手県地域視聴覚教育協会専任職員等研修会</li> <li>・ボランティア活動者・有志指導者研修</li> <li>地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会</li> <li>読書ボランティア研修会</li> <li>放課後子ども総合プラン指導者合同研修会</li> <li>子育て支援活動交流研修会</li> <li>・要請研修</li> <li>随時研修(通年)、出前研修(講師派遣)</li> <li>・その他</li> <li>岩手県生涯学習推進研究発表会</li> <li>放課後児童支援員認定資格研修</li> </ul>	<p><b>【社会教育主事講習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田会場・国社研A・B</li> </ul> <p><b>【県立図書館関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新任図書館長等研修会</li> <li>初任職員研修会</li> <li>中堅職員研修会</li> <li>図書館職員・図書館協議会委員合同研修会</li> <li>市町村職員専門研修</li> </ul> <p><b>【文部科学省、社会教育実践センター等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国生涯学習センター等研究交流会</li> <li>「全国社会教育主事の会」研究交流会</li> <li>地域教育力を高めるボランティアセミナー</li> <li>公民館職員専門講座</li> <li>図書館司書専門講座</li> <li>新任図書館長研修</li> <li>博物館長研修</li> <li>社会教育主事専門講座</li> <li>博物館学芸員専門講座</li> <li>全国博物館長会議</li> <li>学芸員等在外派遣研修</li> </ul> <p><b>【独立行政法人 国立女性教育会館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画推進フォーラム</li> <li>地域における男女共同参画推進リーダー研修</li> </ul>

社会教育施設の整備充実

管  
立  
理  
図  
書  
運  
館  
の  
営

管  
立  
理  
青  
少  
運  
年  
の  
営  
家

整  
視  
聴  
覚  
備  
ラ  
イ  
ブ  
ラ  
リ  
ー  
充  
実  
の

- ・県立図書館視聴覚資料団体貸出部門  
(視聴覚ライブラリー) (県立図書館)
- ・盛岡教育事務所管内教育振興協議会  
(盛岡市等)
- ・花巻市立図書館視聴覚教育ライブラリー  
(花巻市)
- ・北上市視聴覚ライブラリー(北上市)
- ・西和賀町視聴覚ライブラリー(西和賀町)
- ・県南第一地域視聴覚教育協議会  
(奥州市等)
- ・釜石市視聴覚ライブラリー(釜石市)
- ・遠野市視聴覚ライブラリー(遠野市)
- ・大槌町視聴覚ライブラリー(大槌町)
- ・久慈市視聴覚ライブラリー(久慈市)
- ・宮古市視聴覚ライブラリー(宮古市)
- ・山田町視聴覚ライブラリー(山田町)
- ・岩泉町視聴覚ライブラリー(岩泉町)
- ・二戸市視聴覚ライブラリー(二戸市)

社会教育基本調査

- ・全市町村対象10/1現在で調査
- ・集計は、生涯学習推進センター

社会教育関係団体への助成

【総括団体】

岩手県社会教育関係団体連絡協議会

【構成10団体】

岩手県青年団体協議会

日本ボーイスカウト岩手連盟

ガールスカウト岩手県連盟

特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会

岩手県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会

(一社)岩手県PTA連合会

岩手県高等学校PTA連合会

岩手県社会教育連絡協議会

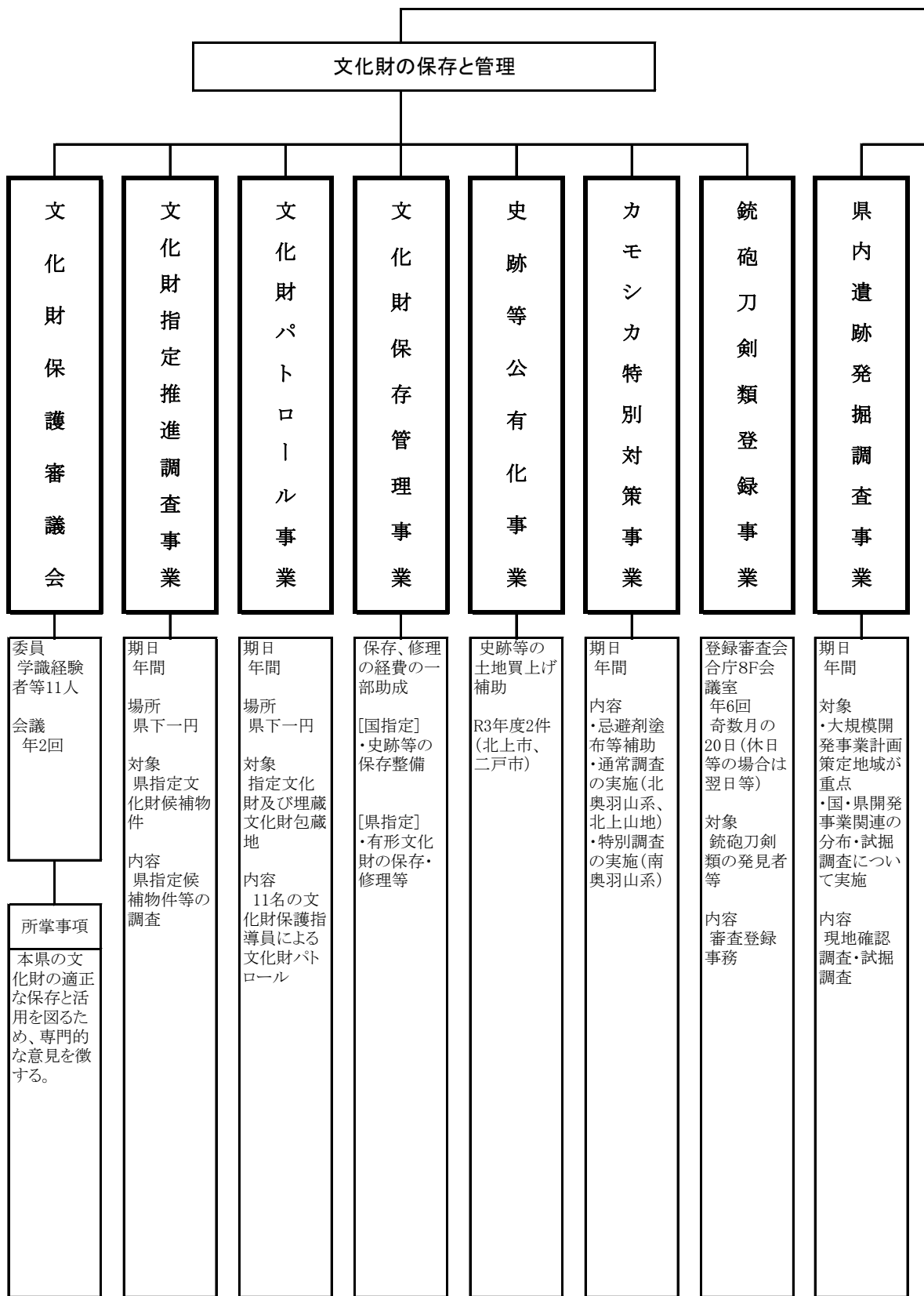
岩手県ユネスコ連絡協議会

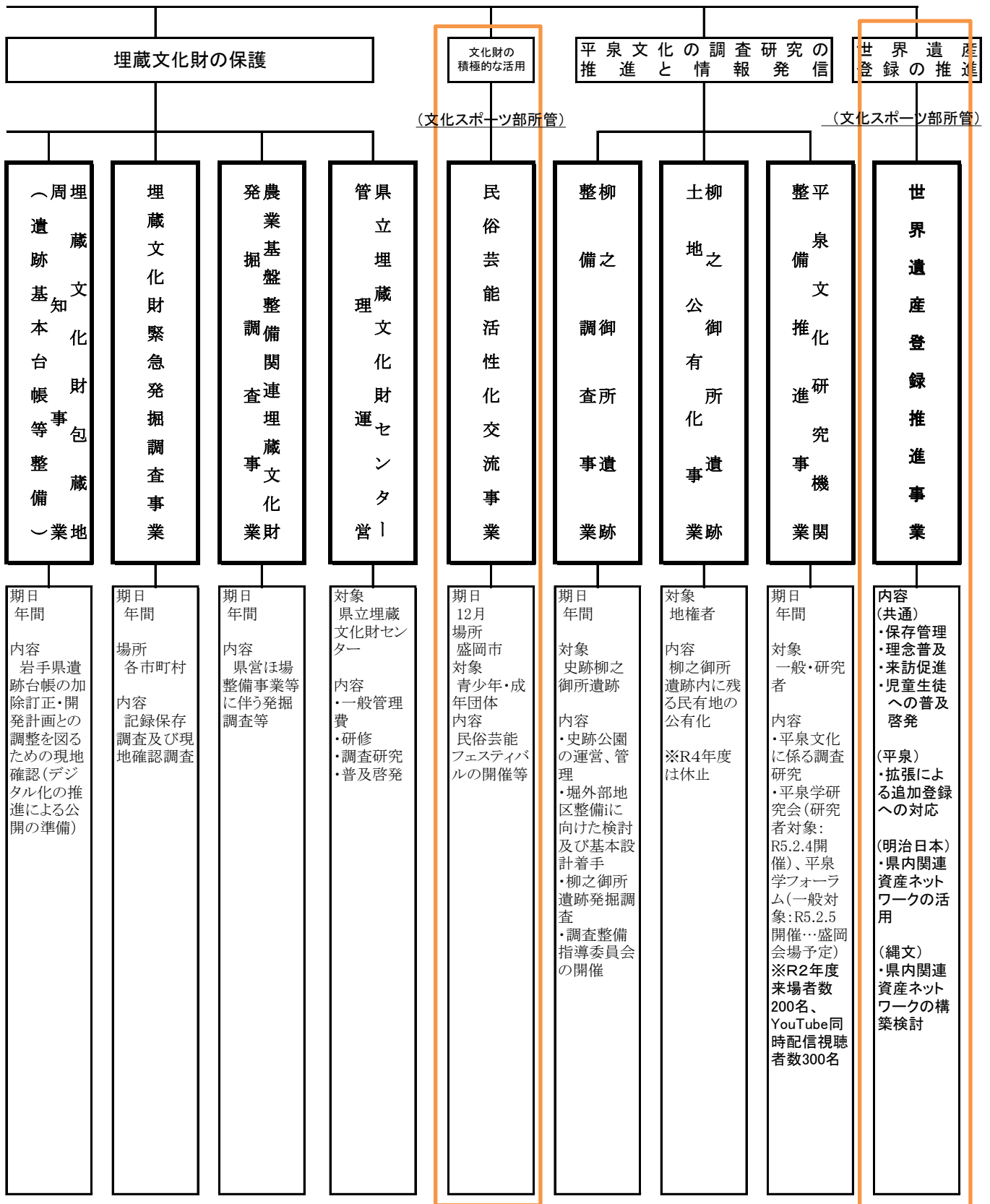
岩手県子ども会育成連合会

「チーム社教」推進事業

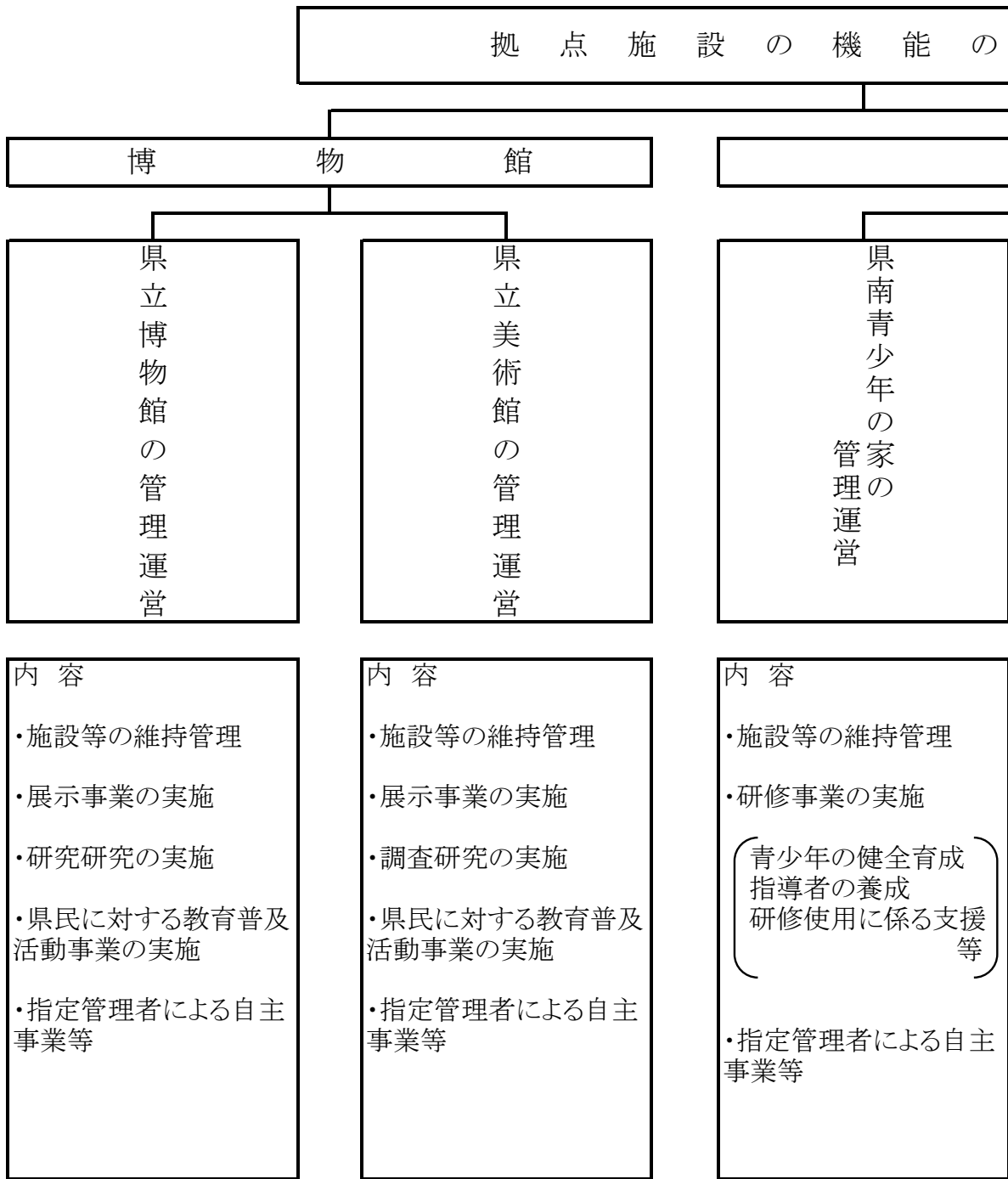
- 県社会教育主事等でチームを編成し、市町村の生涯学習・社会教育行政の支援を行う。
- ・市町村の社会教育事業や社会教育施設等の実態把握及び支援方策の検討
- ・市町村各地域の課題把握及び支援方策の検討
- ・市町村・各地域の課題解決の支援

## 6 文化財の保護





## 7 社会教育施設等の環境整備



充 実

青 少 年 の 家 等

陸  
中  
海  
岸  
青  
少  
年  
の  
家  
の  
管  
理  
運  
営

県  
北  
青  
少  
年  
の  
家  
の  
管  
理  
運  
営

野  
外  
活  
動  
セ  
ン  
タ  
ー  
の  
管  
理  
運  
営

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔青少年の健全育成  
指導者の養成  
研修使用に係る支援  
等〕

- ・指定管理者による自主  
事業等

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔青少年の健全育成  
指導者の養成  
研修使用に係る支援  
等〕

- ・指定管理者による自主  
事業等

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔野外活動の普及奨励  
青少年の健全育成  
指導者の養成  
復興・防災教育 等〕

令和3年度

---

## 協議(2) 今後求められる施策の 方向性について

---

【テーマ】

新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育

～岩手らしさを生かした

生涯学習・社会教育施策の方向性について～





# (案)

新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育  
～岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の方向性について～

協議の報告

令和4年3月

岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議

新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育  
～岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の方向性について～

協議の報告

< 目 次 >

1	はじめに	1
2	【テーマ】「新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育 ～岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の方向性について～」	3
	(1) 「新しい時代」の捉え	
	(2) 社会の変化や新たな課題	
	(3) 目指す姿	
3	デジタル社会に向けた、生涯学習・社会教育施策の方向性について	4
	(1) 学習情報提供におけるICT活用	
	(2) ICT活用による学習機会の提供	
	(3) 生涯学習の基礎を培う学校におけるICT活用	
4	人口減少・人生100年時代の地域づくりを支える、生涯学習・社会教育施策の方向性について	6
	(1) 地域と学校の連携による地域づくり	
	(2) 地域づくりを支える生涯学習・社会教育	
	(3) 次代を担う子どもたちの参画による地域づくり	
5	共生社会に向けた、生涯学習・社会教育施策の方向性について	8
	(1) 合理的配慮による学習活動支援	
	(2) 共生社会に向けた環境づくり	
	(3) 社会的包摂に向けた取組の推進	

6	生命・生活を守る、生涯学習・社会教育施策の方向性について -----	10
	(1) 防災・防犯活動による地域づくり	
	(2) 社会教育施設における学習提供	
	(3) 大切な命を守る社会教育からのアプローチ	
7	協議の経過 -----	11
8	委員名簿 -----	12

## 1 はじめに

- 現在、我が国ではこれまでにない超長寿社会を迎えている。本県においてもこの動きは顕著であり、65歳以上人口が総人口に占める割合は昭和30年以降一貫して増加し、平成27年度からは3割を超える結果となっている。この結果は全国の高齢化率を上回る状況となっている。
- 人生100年時代を迎えるにあたっては、一人ひとりが生涯を通じて学びたいことや学ぶ必要があることを自分に適した手段や方法で楽しく学び、その成果を生きがいにつなげると共に、地域社会との関わりを持ちながら、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯にわたって学び続けることができる環境づくりが求められており、生涯学習の重要性は一層増している。
- 情報社会（Society4.0）、人工知能（AI）の進展により、新たに迎えようとしている超スマート社会「Society5.0」（※1）では、生活や社会の在り方が大きく変化することが予想される。今後、こうした変化に対応する力を一人ひとりが身に付けることや、新しい技術を使いこなし、地域における学習や活動に生かしていくことも求められてくる。
- 国は、令和2年9月に「第10期中央教育審議会生涯学習分科会議論の整理」（以下「中教審生涯学習分科会議論の整理」）を公表している。「議論の整理」は、「多様な主体の協働とICTの活用で、つながる生涯学習・社会教育～命を守り、誰一人として取り残さない社会の実現へ～」を副題として設定し、「生涯学習・社会教育をめぐる現状・課題」、「新しい時代の生涯学習・社会教育の広がりと充実に向けて」という二つの柱で構成されている。
- 本県においては、長期的な岩手県の将来を展望し、「いわて県民計画（2019～2028）」が策定され、また、それに併せ、新たな教育振興の取組の指針となる「岩手県教育振興計画」が策定された。本県の人と人のつながりを大切にす「結（ゆい）」の精神と「絆」の力のもと、県民総参加の「社会を創造する人づくり」の実現に向けて取組を進めていくこととしている。
- 国の公表資料や本県の計画を踏まえ、当岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議では、これからの時代への対応と、目指す姿の実現に向けて、中教審生涯学習分科会議論の整理で示された柱の中から、以下、4点について「岩手らしさを生かした」生涯学習・社会教育をどのように推進していくことが望ましいか議論を進めてきた。
  - ・デジタル社会に向けた、生涯学習・社会教育施策の方向性について
  - ・人口減少・人生100年時代の地域づくりを支える、生涯学習・社会教育施策の方向性について
  - ・共生社会に向けた、生涯学習・社会教育施策の方向性について
  - ・生命・生活を守る、生涯学習・社会教育施策の方向性について

- 協議は、令和2年度から2か年にわたって行われ、計4回の意見交換を通して議論を深めた。生涯学習・社会教育施策の方向性について今後の検討の一助となることを願い、このほど「協議の報告」としてまとめたものである。
- 当岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議としては、本報告を参考としながら、県内の各地域において、社会の変動に対応し、岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の推進が図られることを期待する。

---

※1 Society5.0：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）と内閣府の「第5期科学技術基本計画」にて定義されている。

## 2 【テーマ】「新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育

～岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の方向性について～

### (1) 「新しい時代」の捉え

「新しい時代」とは、社会の変化や新たな課題に対応しながら、「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げた目指す姿の実現を目指していく時代のこと。

**新しい時代** = **社会の変化や新たな課題への対応** + **目指す姿の実現**

### (2) 社会の変化や新たな課題

#### 【社会の変化】

- ・ 人生 100 年時代の到来
- ・ 情報社会 (Society4.0)、人工知能 (AI) の進展
- ・ 「Society5.0」の実現
- ・ 働き方改革の推進 等

#### 【新たな課題】

- ・ 大規模自然災害
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応
- ・ 困難を抱える家庭
- ・ 孤立する若者や高齢者への支援
- ・ 人口減少に伴う地域づくり 等

### (3) 目指す姿

ア 「いわて県民計画（2019～2028）」基本目標に掲げた「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現。

イ 「いわて県民計画（2019～2028）」第1期アクションプラン（生涯学習関連）に掲げた『いつでも・どこでも・だれでも』生涯を通じて学び続けられる場づくりの実現。

### 3 デジタル社会に向けた、生涯学習・社会教育施策の方向性について

デジタル社会への変化は、今後、益々進んでいくことが想定される。その中においても、「結（ゆい）」の精神と「絆」の力のもと、ICT機器を利用できる方とできない方の格差の解消、「オンラインによる学び」と「対面による学び」を組合せながら、更なる学びの充実を図ることなどが、生涯学習・社会教育に求められている。

#### (1) 学習情報提供におけるICT活用

ア ICTを活用することで、これまで情報を届けることができなかつた方に対し、届けることができる好機と捉えることができる。

県がオンライン公民館のようなシステムを用意し、そこで多種多様な講演会を開催する取組等を検討する必要がある。

イ デジタル情報にアクセスが困難な方に対し、情報を受け取ることができるような支援が必要である。

ウ これまで、地域住民や研修会等の参加者に対する情報提供や啓発等については、研修の内容や行事の記事、写真等を広報紙や新聞に掲載することで参加を促進させ、評価の一部としてきた。これからは紙面だけではなく、様々なデジタル表現の仕方を工夫することで、より広範囲な方の参加や外部の方の視点による評価が可能となり、その結果、新たな交流が生まれることが期待できる。

#### (2) ICT活用による学習機会の提供

ア ICTの活用により「いつでも・どこでも・だれでも」学べる環境に近づいてきている。しかしながら、「学ぶ」ということは知識を身に付けるだけではなく、人とつながりをもちながら楽しく学ぶことに大きな意味があると考ええる。

イ 誰一人も取り残さない「人に優しいデジタル化」を目指していくために、少ない人数でも集い、人とのつながりを構築しながら進めていくことが必要である。

ウ 学生、社会人、高齢者等、それぞれのニーズを把握した上で、適切なコンテンツをオンラインで配信していく必要がある。学習コンテンツに関しては、誰もが利用しやすいように、より一層のバリアフリー化とユニバーサルデザイン化を推進する必要がある。

エ 対面で行わなければならないこと、ICTを通して行った方がよいことを区別し、オンラインと対面によるハイブリッド形式のあり方を検討する必要がある。

オ 小学校で必修となっているプログラミング教育を子どもたちだけの学習にするのではなく、地域住民を対象としたプログラミング講座として設定するなど、高齢者、保護者、子ども等、地域住民を巻き込みながら地域でデジタル技術を学ぶ機会を作る必要がある。



デジタル社会を敬遠している高齢者や保護者も子どもと一緒に学ぶことで理解が進み、地域づくりへとつながっていく可能性が期待できる。

カ 学校でICTについて学んだ中高生が講師となり、学んだことを地域に還元することを目的に、地域の方を対象とした講習会に出向くことを学校行事として開催することについて、検討する価値がある。

### (3) 生涯学習の基礎を培う学校におけるICT活用

ア ICTを活用することは、教室で授業を受けることに対し、心に負担を感じる子どもたちや学生にとって、他人の目を気にすることなく、安心できる場所で学習に集中することができることから、ICTを活用する環境づくりが求められている。

イ GIGAスクール構想(※2)を進めるに当たって、学びの個別化を促すための教員の資質向上や十分な配置等が必要である。

---

※2 GIGAスクール構想：1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現することを目指し、文部科学省が推進している。

#### 4 人口減少・人生 100 年時代の地域づくりを支える、生涯学習・社会教育施策の方向性について

人口減少・人生 100 年時代の地域づくりは、「結（ゆい）」の精神と「絆」の力のもと、多様な主体が連携・協働することを促し、地域の様々な世代が共に学び合う場を設けるなど、地域課題の解決に向け取組を進めることが、生涯学習・社会教育に求められている。

##### (1) 地域と学校の連携による地域づくり

ア 地域学校協働活動（※3）に対し、「子どもたちのためなら」と力を貸してくれる地域の大人がいる。子どもたちと一緒に活動する中で子どもと大人、大人と大人が顔見知りとなり、新たなコミュニティが生まれる。このコミュニティが新しい地域づくりにつながることを期待できる。

イ 学校を核とした地域づくりについては、学校と公民館・市民センター等の連携が欠かせない。学校に関係する部分については、これまでコミュニティスクールや教育振興運動を中心に取り組まれている。

地域づくりに関係する部分については、公民館・市民センターが核となって取組を進めていく必要がある。

##### (2) 地域づくりを支える生涯学習・社会教育

ア 「岩手らしさ」には「岩手だからできること」と「岩手だから苦しいこと」の両面がある。地域活動を行うにあたり岩手県は人口に比して県土が広い。それぞれの地域ごとに何を核として活動を構築していくのかという視点を設定することが重要である。

イ これからの地域づくりは、過疎化や高齢化が進んだとしても、ある程度の機能が維持できるような仕組みづくりが求められる。その仕組みづくりをサポートする行政の力も必要である。

ウ 様々な働き方がある中で、それぞれの地域・家庭の実情に応じた参加しやすい地域活動を多様に設定することにより、新しい時代の地域づくりにつながることを期待できる。

##### (3) 次代を担う子どもたちの参画による地域づくり

ア 長期的なスパンで地域力・地域づくりを構築していく場合、生産年齢の人たちはもちろんだが、子どもたちに目を向けるべきである。また、相互扶助的な社会を目指すためには、地域社会の中で人と人とのつながりを育てることと、地域の拠点となる交流の場を整備することが重要である。

イ 子どもたちが将来の社会を支えていく大人に成長していくためには、自分たちの発した声がしっかりと社会に届き、実現可能だということを子どもたちから実感させる必要が

ある。

ウ 次代を担う中高生が、社会教育による学びを通じて、地域の課題を様々な世代の住民と一緒に考えて考えることが、相互扶助的な社会を構築するための大きな一歩となる。そのためにも、中高生の社会参加を促す社会教育施策の充実が必要である。

---

※3 地域学校協働活動：地域住民、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。

## 5 共生社会に向けた、生涯学習・社会教育施策の方向性について

「誰一人として取り残さない」包摂的な社会の実現に向けて、「結（ゆい）」の精神と「絆」の力のもと、同じ社会に生きる人間として、互いに正しく理解し、共に助け合い、支え合うことができるような学びの機会や交流の機会の提供が、生涯学習・社会教育に求められている。

### (1) 合理的配慮による学習活動支援

ア 各種事業への募集に対して、障がい者は自分が参加してよいのかと躊躇してしまうことがあると思われる。

募集チラシ等でよく見かける「どなたでも参加は大丈夫」という文言について、障がい者は、「どなたでも」に自分が対象となっているのかと考えてしまうのではないかと。

今後、障がい者へのサポートの有無について具体的な但し書きを加えることで、自分も参加してよいのだという安心感を与えたり、体制が整っていることを伝えたりすることが参加促進につながる。

イ 障がい者が参加しやすいように、公共交通機関を利用して参加可能な場所の配慮や参加者のネットワーク構築を目的とした活動についても配慮が求められる。

これらを踏まえ、障がいの有無に関わらず参加者の交流が深められるワークショップの開催も必要である。

### (2) 共生社会に向けた環境づくり

ア 自分たちの地域に障がい者が暮らしていることを知らない方がいる。公民館・市民センターで開催される行事やイベント等に、障がいの有無に関わらず、互いに誘い合って参加できる社会を構築するための手立てを考える環境が求められている。

イ 特別支援学校を卒業すると、スポーツ活動や芸術活動等の情報が障がい者に届きにくい現状である。これまでも市町村においてスポーツ大会や文化芸術に関するイベントなど様々な取組が実施されている。市町村の行事を活用しながら障がい者と積極的に関わっていくことが、共生社会に向けて今後必要である。

ウ パラリンピックで注目された競技等が地域で定期的開催されるようになったり、小、中学校で障がい者スポーツを体験した子どもたちが、地域で障がい者と一緒に参加したりすることを促していくことが必要である。

### (3) 社会的包摂に向けた取組の推進

ア 包摂の対象として見られている方たちが、何を求めているのかということがまだ十分捉えきれていない。押しつけの包摂は、「余計なお世話」、「自分のことに関わらないで欲しい」と受け取られる恐れがある。そのため、何を求めているかを丁寧に把握する必要がある。

る。

イ 本来であれば包摂の観点に上がってこなければいけない方たちを、どのように見出していくのかということについて、議論が必要である。

ウ 「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、訪問支援（アウトリーチ）にさらに力を入れるなどしながら、できるだけ細かなネットワークを組織し、双方向の情報交流ができる社会を目指すことを検討していく必要がある。

## 6 生命・生活を守る生涯学習・社会教育施策の方向性について

新型コロナウイルスや自然災害などの課題に対し、「結（ゆい）」の精神と「絆」の力のもと、必要な知識を得たり、課題解決に向けて共に学び合ったりする機会の充実に努めながら、人々の生命や生活を守る取組を進めていくことが生涯学習・社会教育に求められている。

### (1) 防災・防犯活動による地域づくり

ア 自然災害が全国各地で発生しており、防災に対する地域住民の関心が高くなっている。地域防災組織の立ち上げや見直しを積極的に促すことが、住民が集い、学び、つながるきっかけとなり、地域づくりに寄与することが期待できる。

イ 子どもたちが地域の方々と定期的集まる交流活動を継続することにより、どこにどんな方が住んでいるのかについて把握することができ、地域を知ることにつながる。例えば、危険な場面に遭遇した際、顔見知りの関係ができていれば、躊躇することなく助けを求めることができるようになる。交流活動は地域の防災・防犯意識を高めることにつながる。

### (2) 社会教育施設における学習提供

学校での復興教育・防災教育を継続していくと共に、青少年の家等の社会教育施設において実施している復興教育・防災教育プログラムを活用することにより、子どもたちや親子の防災に関する体験を拡充していくことが可能であり、今後の地域を支える十分な力になることが期待できる。

### (3) 大切な命を守る社会教育からのアプローチ

ア デジタル機器への依存問題、SNS等の生徒指導上のトラブルが増加傾向にあり、悩んだ末に自殺する方がいる。大切な命を守るために、社会教育からもアプローチを考えることが必要である。

イ 人とのコミュニケーションが苦手な方にとっては、デジタルでのつながりが心の支えとなっている場合がある。デジタル化が進むのはよい面もあるが、更にコミュニケーション能力を高めるための社会教育からのアプローチを考えることも必要である。

ウ 岩手に住む子どもたちが自己肯定感をもち、個々それぞれが自信をもてるよう、また、生涯にわたって学び続けるための意欲と能力を育成するために、子どもたちに適切な体験学習の場や世代間交流の場を学校教育・社会教育が相互連携しながら提供していくことが必要である。

## 7 協議の経過

### ○ 第1回の協議

日 時：令和2年7月14日（火）13：30～15：45

会 場：サンセール盛岡 1階 ダイヤモンド

協議内容：

- ① 新テーマ「新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育 ～岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の方向性について～」に関し、課題と思われることについて
- ② サブテーマの「岩手らしさ」に関し、岩手のよさ、岩手ならではの学びについて

### ○ 第2回の協議

日 時：令和3年1月25日（月）13：30～15：50

会 場：サンセール盛岡 1階 ダイヤモンド

協議内容：

- ① 「ICT（情報通信技術）、デジタル社会」  
デジタル社会に向けた、生涯学習・社会教育施策の方向性について
- ② 「予測困難な課題（自然災害・感染症等）」  
生命・生活を守る、生涯学習・社会教育施策の方向性について

### ○ 第3回の協議

日 時：令和3年7月19日（月）13：30～15：45

会 場：サンセール盛岡 1階 ダイヤモンド

協議内容：

- ① 「地域力・地域づくり」  
人口減少・人生100年時代の地域づくりを支える、生涯学習・社会教育施策の方向性について
- ② 「社会的包摂」について  
共生社会に向けた、生涯学習・社会教育施策の方向性について

### ○ 第4回の協議

日 時：令和4年1月21日（金）13：30～15：45

会 場：サンセール盛岡 1階 ダイヤモンド

協議内容：「協議の報告」に係る素案について

## 8 委員名簿（役職等：令和3年11月末現在）

伊藤 由紀子	（一関市生涯学習支援員 / 学校支援地域コーディネーター）
岩 舘 智 子	（一般社団法人岩手県PTA連合会 会長）令和3年度から
田 口 昭 隆	（一般社団法人岩手県PTA連合会 前会長）令和2年度まで
小 原 貴 人	（岩手県立盛岡第二高等学校 校長）
笠水上 訓 正	（岩手県立盛岡青松支援学校 校長）令和3年度から
横 澤 修	（岩手県立盛岡となん支援学校 校長）令和2年度まで
菅 野 路 子	（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会 副会長）
菅 野 祐 太	（認定特定非営利活動法人カタリバディレクター / 大槌町教育専門官）
小 菅 正 晴	（一関市教育委員会 教育長）
小 向 勝 志	（久慈市長内市民センター 所長）
中 村 利 之	（盛岡市社会教育委員 / 岩手県生涯学習振興協会 会長）
西 里 真 澄	（岩手医科大学看護学部 講師 / あそびma・senka 代表）
畠 山 大	（岩手県立大学高等教育推進センター 准教授）
馬 場 智 子	（岩手大学教育学部 准教授）
半 澤 久 枝	（特定非営利活動法人矢巾ゆりかご 理事長）
松 田 恵美子	（岩手県青年団体協議会 会長）
森 川 静 子	（岩手県立県北青少年の家 前所長 / 岩手県生涯学習振興協会員）
吉 田 竜二郎	（盛岡市立中野小学校 校長）令和3年度まで
石 川 耕 司	（盛岡市立太田小学校 前校長）令和2年度まで





## 令和4年度社会教育関係団体活動費補助金交付団体

	社会教育関係団体名	設立 年月日	補助金 開始 年度	代表者名	団体・ 会員数	主な補助事業内容
総括 団体	岩手県社会教育関係団体連絡協議会	H9. 4. 1	H9	瀬川愛子	10 団体 159, 245 人	※下記 10 団体を総括する。
構成 団体	1 岩手県青年団体協議会	S26. 3. 29	S37	松田恵美子	2 市町村 2 団体 30 人	・青年大会 (体育部門、文化部門)
	2 日本ボーイスカウト岩手連盟	S24. 7. 9	S36	山崎義勝	5 市町 8 団体 314 人	・日本ボーイスカウト岩手 連盟野営大会(仮称)
	3 ガールスカウト岩手県連盟	S45. 3. 1	S46	菊地真弓	8 市町 9 団体 155 人	・教育プログラム ・成人のトレーニング
	4 特定非営利活動法人 岩手県地域婦人団体協議会	S28. 1. 10	S38	瀬川愛子	23 市町村 31 団体 4, 819 人	・広報活動
	5 岩手県国公立幼稚園・こども園 P T A 連絡協議会	S50. 7. 10	S63	石川陽貴	9 市町 31 団体 973 人	・県幼 P 連総会 ・ブロック研修 ・会報発行
	6 一般社団法人岩手県 P T A 連合会	S26. 8. 1	S45	岩館智子	33 市町村 33 団体 78, 433 人	・広報活動
	7 岩手県高等学校 P T A 連合会	S26. 8. 3	S45	大柏 良	30 市町村 80 団体 23, 976 人	・会報発行
	8 岩手県社会教育連絡協議会	S42. 4. 1	S42	大橋清司	33 市町村 34 団体 1, 540 人	・社会教育委員研究大会 ・社会教育指導員等研修会 ・機関紙発行
	9 岩手県ユネスコ連絡協議会	S28. 3. 15	S44	三田地宣子	15 市町 22 団体 1, 570 人	・ユネスコ活動顕彰事業 ・ユネスコ運動広報事業
	10 岩手県子ども会育成連合会	S50. 5. 20	S50	三浦保治	12 市町村 12 団体 47, 435 人	・子ども会活動活性化事業 ・ブロック別研修会 ・子育連だより発行

※令和3年6月現在